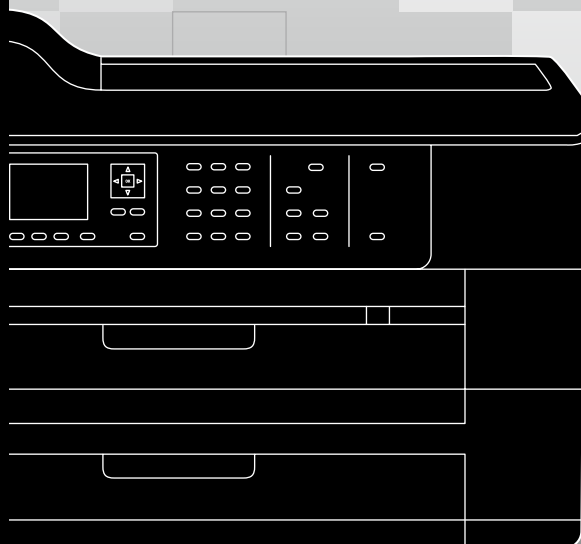
操作ガイド

インクジェットプリンター（複合機）

PX-1600F
PX-1700F

本製品の使い方全般を説明しています。

本書では PX-1700F のイラストや画面を使用して説明しています。

本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マニュアルの使い方

シート・冊子(本)の
マニュアル

■『準備ガイド』

本製品を使える状態にするまでの手順と、本製品をパソコンにUSB・無線LAN・有線LAN接続する手順、本製品を電話回線に接続する手順を説明しています。

■『操作ガイド』(本書)

本製品のみで使用するときの使い方を説明しています。

パソコンの画面で
見るマニュアル

■『ユーザーズガイド』

パソコンに接続したときの使い方を説明しています。

- 印刷・スキャン・ファクス方法
- 付属のソフトウェアの使い方
- パソコン接続時のトラブル対処方法

■『ネットワークガイド』

以下の内容を説明しています。

- ネットワーク設定方法
- ネットワーク接続時のトラブル対処方法

上記マニュアルは、ソフトウェアと同時にパソコンにインストールされます。デスクトップ上のアイコンをダブルクリックして表示しますが、下記の手順でも表示できます。XX-XXXX は機種名です。

< Windows >
[スタート] – [すべてのプログラム] – [Epson Software] – [Epson Manual] – [EPSON XX-XXXX ユーザーズガイド(またはネットワークガイド)]

< Mac OS X >
[起動ディスク] – [アプリケーション] – [Epson Software] – [Epson Manual] – [EPSON XX-XXXX ユーザーズガイド(またはネットワークガイド)]

こんなトラブルが発生したら?

印刷できない・印字がおかしい・用紙が詰まった・スキャンできない・ファクスできない・
ネットワークの設定ができない ‥など

以下のマニュアルをご覧ください。

■本製品のみで使用しているときのトラブル	**☞『操作ガイド』60 ページ「トラブル対処」**
■パソコンに接続して使用しているときのトラブル	**☞『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) –「トラブル解決」** ※「印刷のトラブル」・「スキャンのトラブル」・「ファクスのトラブル」から、目的の内容をご確認ください。
■ネットワーク接続に関するトラブル	**☞『ネットワークガイド』(電子マニュアル) –「設定 / 印刷で困ったときは」–「設定や印刷に関するトラブル」**
■付属のソフトウェアに関するトラブル	**☞『ユーザーズガイド』(電子マニュアル) –「ドライバー / ソフトウェア」**

マークの意味

必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

補足情報や参考情報を記載しています。

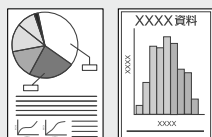
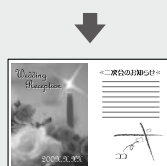
☞ 関連した内容の参照ページを示しています。

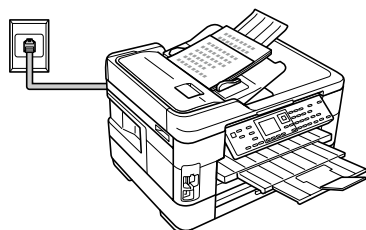
もくじ

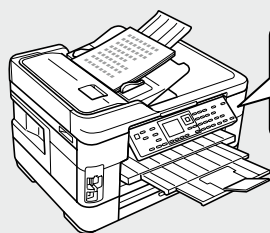
本製品の主な機能

コピーする ☞22 ページ

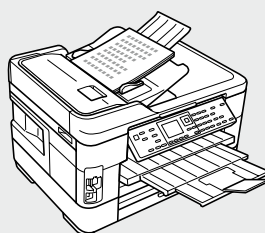
便利なコピー機能

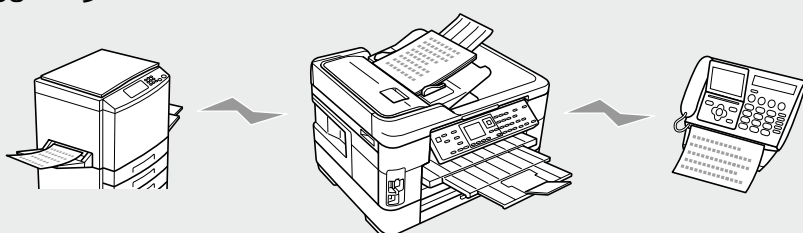
■ 両面コピー
☞24 ページ

■ 2 アップコピー
☞25 ページ

■ 写真コピー
☞47 ページ

ファクスを使う ☞26 ページ

便利なファクス送信機能

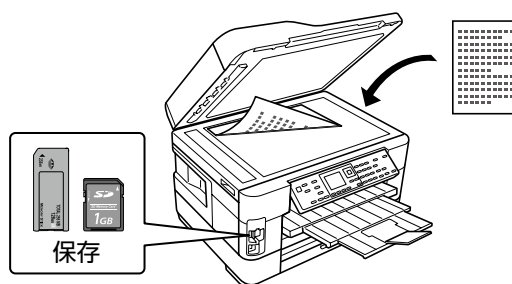
■ 短縮ダイヤル・グループダイヤル送信
☞34 ページ

01：XXX-XXXX-XXXX
02：XXX-XXXX-XXXX
⋮

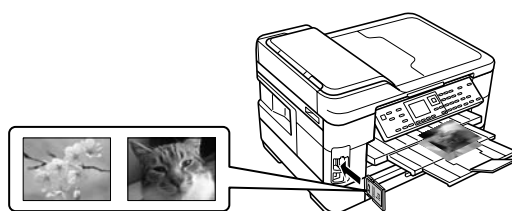
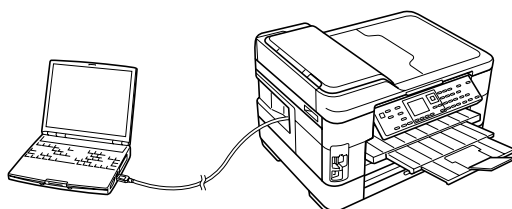
登録した宛先に送信

■ 時刻指定送信
☞35 ページ

時間を指定して
送信

■ 順次同報送信
☞36 ページ

複数の宛先に同じ原稿を送信

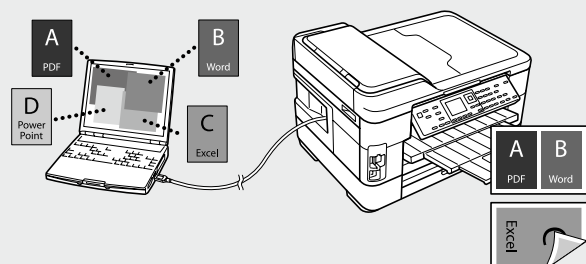
スキャンする ☞49 ページ

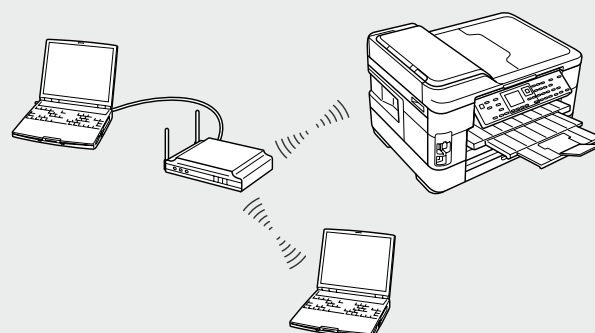
保存

スキャンしてメモリーカードに保存

メモリーカードの写真を印刷する ☞43 ページ

パソコンと接続して使う ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）

パソコンから印刷・ファクス送信・スキャン

便利な機能

■ まとめてプリント Lite（Windows のみ）

異なるアプリケーションで作成した複数のドキュメントを 1 つにまとめて印刷します。さらに、印刷順序や割り付けなどのレイアウトをページ単位で調整できます。
イメージを確認しながら調整できるので、思い通りのレイアウトで印刷できます。

■ ケーブルなしでパソコンと接続

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）

製品使用上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前には必ず本製品のマニュアルをお読みください。本製品のマニュアルの内容に反した取り扱いは故障や事故の原因になります。本製品のマニュアルは、製品の不明点をいつでも解決できるように手元に置いてお使いください。

記号の意味

本製品のマニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作やお取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

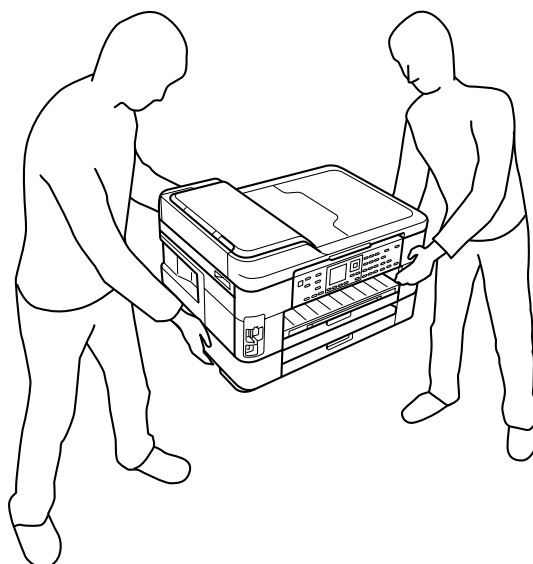
	この記号は、必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。		この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。		この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。		この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
	この記号は、特定の場所に触れることの禁止を示しています。		この記号は、アース接続して使用することを示しています。

設置上のご注意

⚠警告	
	本製品を布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。 内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。

⚠注意			
	本製品を持ち上げる際は、マニュアルで指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。 他の部分を持って持ち上げると、プリンターが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。 本製品の持ち上げ方は以下をご覧ください。 ☞ 本ページ「本製品の持ち方」		**本製品は重いので、1 人で運ばないでください。** 開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。 本製品の質量は以下のページをご覧ください。 ☞70 ページ「製品の仕様とご注意」 **本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。** 転倒などによる事故のおそれがあります。
	本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。 無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。 **本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。** 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。 **本製品を移動する際は、水平な状態で移動してください。** 傾けたり立てたりすると、スキャナーユニットが開いて、けがをするおそれがあります。		**不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。** 落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。 **油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。** 感電・火災のおそれがあります。

本製品の持ち方

本製品は下図のように 2 人で持ち上げて運んでください。

静電気

静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電気防止マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。

電源に関するご注意

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。
コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。

電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。
感電・火災のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。

雷が鳴り出したら、電源コンセントや電話回線に接続されている機器（製品本体、電源コード、電話線）に触れないでください。
感電のおそれがあります。

漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。
アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65cm 以上地中に埋めた物
- 接地工事（D 種）を行っている接地端子

アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

AC100V 以外の電源は使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

電源コードのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災になるおそれがあります。
家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。

破損した電源コードを使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。
また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。
- 電源コードを加工しない
- 電源コードに重いものを載せない
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
- 熱器具の近くに配線しない

次のような場所にアース線を接続しないでください。
- ガス管（引火や爆発の危険があります）
- 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

使用上のご注意

⚠警告

液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
- 皮膚に付着したときは、付着物をふき取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。

異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

マニュアルで指示されている箇所以外の分解は行わないでください。

製品内部の、マニュアルで指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

アルコール、シンナーなどの揮発性物質のある場所や火気のある場所では使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。

可燃ガスおよび爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。また、本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。

各種ケーブルは、マニュアルで指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。

開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。

⚠注意

本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。
コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。

各種ケーブルを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。
火災やけがのおそれがあります。
マニュアルの指示に従って、正しく取り付けてください。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。
急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。

本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。
特に、子供のいる家庭ではご注意ください。
倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。また、ガラス部分が割れてけがをするおそれがあります。

電源投入時および印刷中は、排紙ローラー部に指を近付けないでください。
指が排紙ローラーに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。

本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。
インクが漏れるおそれがあります。

インクカートリッジに関するご注意

⚠注意			
	インクが皮膚に付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは以下の処置をしてください。 • 皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。 • 目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にご相談ください。 • 口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。		**インクカートリッジを分解しないでください。** 分解するとインクが目に入ったり皮膚に付着するおそれがあります。
			インクカートリッジは強く振らないでください。 強く振ったり振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れるおそれがあります。
			インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。

取り扱い上のご注意

- インクカートリッジは冷暗所で保管し、個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。また、開封後は 6 ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- 黄色いフィルムは必ずはがしてからセットしてください。はがさないまま無理にセットすると、正常に印刷できなくなるおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対にはがさないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジの緑色の基板には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源を切った状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充てん中は電源を切らないでください。充てんが不十分で印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジを取り外した状態で本製品を放置したり、インクカートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。また、再装着の際は、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、本製品と同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

使用済みインクカートリッジの処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みのインクカートリッジは、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 裏表紙「インクカートリッジの回収」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

インク消費

- プリントヘッドを良好な状態に保つため、インクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作でインクが消費されます。
- モノクロやグレースケール印刷でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は 2 回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

仕様のご注意

■電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名　：SP88W8786-MD0-2C2T00
- 認証番号：003WWA090664
  003GZA090665

周波数

本製品は、2.4GHz帯の2.400GHzから2.497GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は、2.4GHz帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本機の運用を停止（無線の発射を停止）してください。

参考

上記注意事項が記載されているステッカーが同梱されています。本製品の目立つところに貼り付けてください。

本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。
他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器とも通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（http://www.wi-fi.org）をご参照ください。

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

電波障害自主規制

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

■本製品の使用時におけるセキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。
本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。
本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティーの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティーに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN製品は、購入直後の状態においては、セキュリティーに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティー問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティーに関するすべての設定をマニュアルに従って行ってください。
なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティー設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
セキュリティー対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティーの問題が発生してしまった場合、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。
弊社では、お客様がセキュリティーの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティーに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

各部の名称と働き

1 オートドキュメントフィーダーカバー(ADF カバー)

詰まった原稿を取り除くときにレバーを引いて開けます。
☞58 ページ「詰まった用紙の取り除き」
このマニュアルでは、オートドキュメントフィーダーカバーを以降「ADF カバー」と記載します。

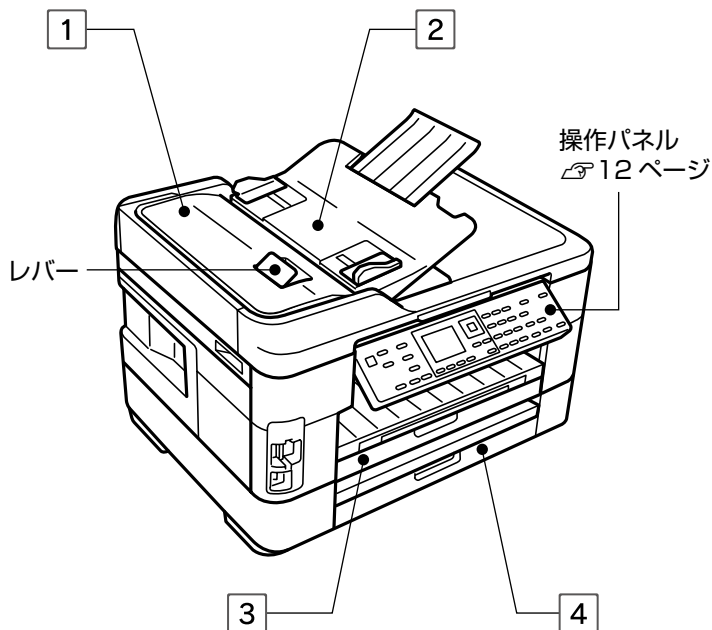
2 オートドキュメントフィーダー（ADF）

原稿を自動で送ります。
☞ 19 ページ「オートドキュメントフィーダーへのセット」
このマニュアルでは、オートドキュメントフィーダーを以降「ADF」と記載します。

3 用紙カセット 1

印刷用紙をセットします。
対応するすべての用紙サイズをセットできます。
☞16 ページ「印刷用紙のセット」

4 用紙カセット 2（PX-1700F のみ）

印刷用紙をセットします。
B5 サイズ以上の用紙のみセットできます。
☞16 ページ「印刷用紙のセット」

5 プリントヘッド（ノズル）

インクを吐出します。

6 カートリッジカバー

インクカートリッジのセット・交換時に開けます。

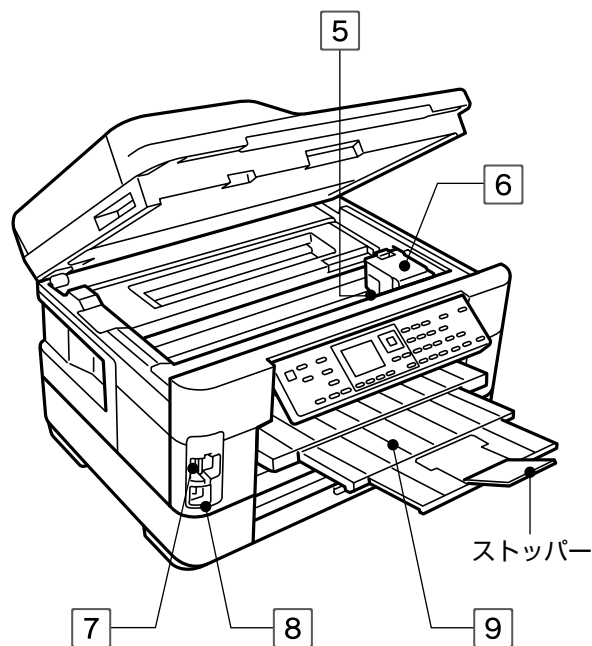
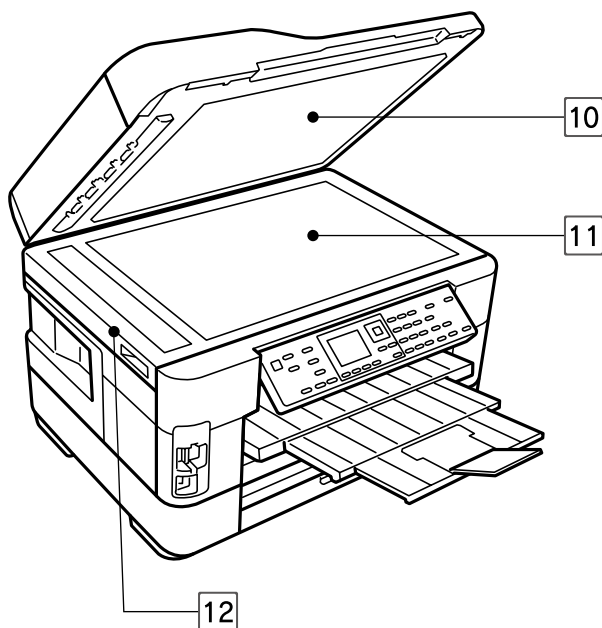
7 メモリーカードスロット

メモリーカードをセットします。
☞20 ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

8 外部機器接続コネクター

外部記憶装置を接続する USB コネクターです。

9 排紙トレイ

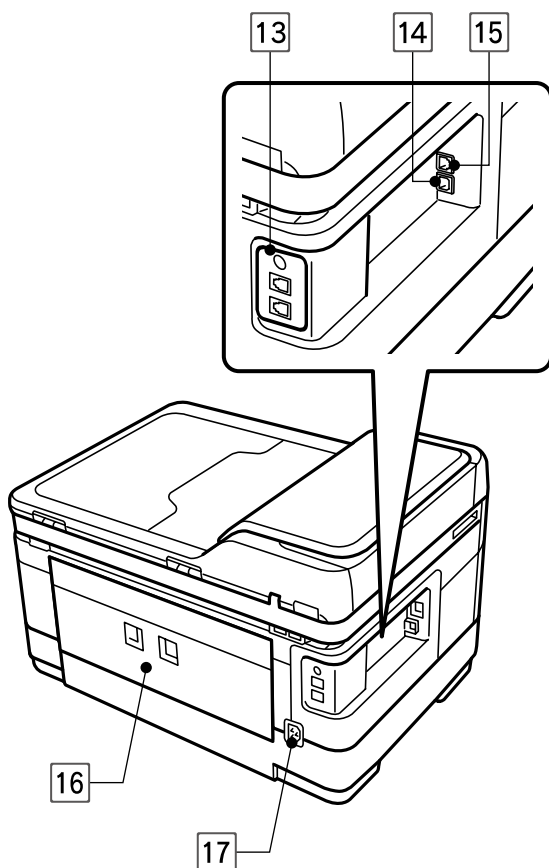
印刷された用紙を保持します。3 段すべて引き出してお使いください。
トレイ先端のストッパーで用紙の飛び出しを防ぎます。

10 **原稿カバー**

スキャン時に外部の光をさえぎります。

11 **原稿台**

原稿をセットします。
☞18 ページ「原稿のセット」

12 **スキャナーユニット**

原稿をスキャンします。

13 **モジュラーケーブル接続コネクター**

LINE：電話回線を接続します。
EXT.：外付電話機を接続します。

14 **USB コネクター**

USB ケーブルを接続します。

15 **LAN ケーブル用コネクター**

有線 LAN でネットワーク接続するときに LAN ケーブルを接続します。

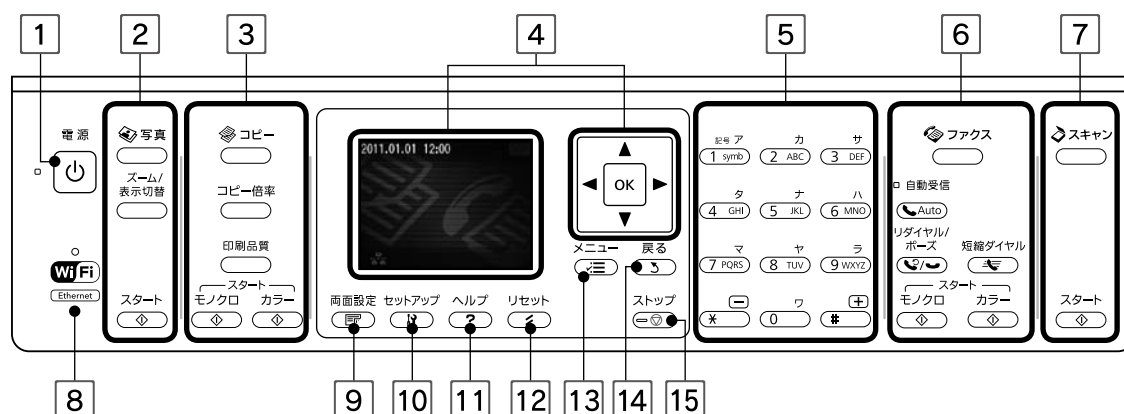
16 **背面ユニット**

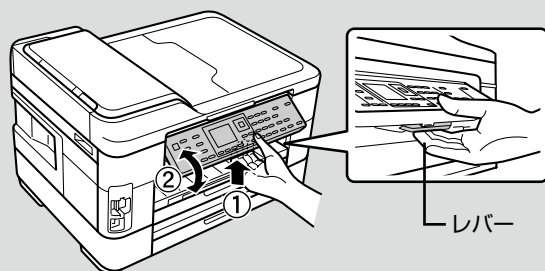
詰まった用紙を取り除くときに外します。

17 **電源コネクター**

電源コードを接続します。

操作パネルの使い方

操作パネルの名称と働き

パネルの角度調整

見やすい、操作しやすい位置に調整してください。

パネル裏側のレバーをつまみながら動かす

1 【電源】ボタン

電源の入 / 切をします。

2 写真モード用のボタン

☞43 ページ「写真の印刷（メモリーカードから印刷）」

3 コピーモード用のボタン

☞22 ページ「コピーモード」

4 液晶ディスプレイ・選択 / 設定ボタン

液晶ディスプレイに表示される案内に従って、ボタンを押してメニューや項目を選択したり、印刷枚数を設定したりします。
☞13 ページ「画面上のガイド」

※ 13 分以上操作しないとスリープモードになり、ディスプレイの表示が消えます。再表示するにはいずれかのボタンを押してください。

5 テンキー（数字キー）

数字・ファクス番号・文字などの入力や、設定項目・設定値の選択をします。
枚数設定時などには、【＊】キーを【－】ボタン、【♯】キーを【＋】ボタンとしても使用します。

6 ファクスモード用のボタン

☞26 ページ「ファクスモード」

7 スキャンモード用のボタン

☞49 ページ「スキャン」

8 ネットワークランプ

無線 LAN に接続すると点灯します。

9 【両面設定】ボタン（PX-1700F のみ）

両面コピー・両面ファクス・両面スキャンの設定画面を表示します。

10 【セットアップ】ボタン

インク残量表示、印刷品質が悪くなったときのメンテナンス、ネットワーク設定など、各種設定を行います。

11 【ヘルプ】ボタン

お問い合わせの多いトラブルの対処方法を表示します。

- 操作方法がわからない
- 印刷結果がおかしい
- 「スキャンしてパソコンへ」が使えない

12 【リセット】ボタン

操作中の設定を変更前の状態に戻して、ホーム画面を表示します。

13 【メニュー】ボタン

各モードのメニュー画面を表示します。

14 【戻る】ボタン

1 つ前の画面に戻ります。

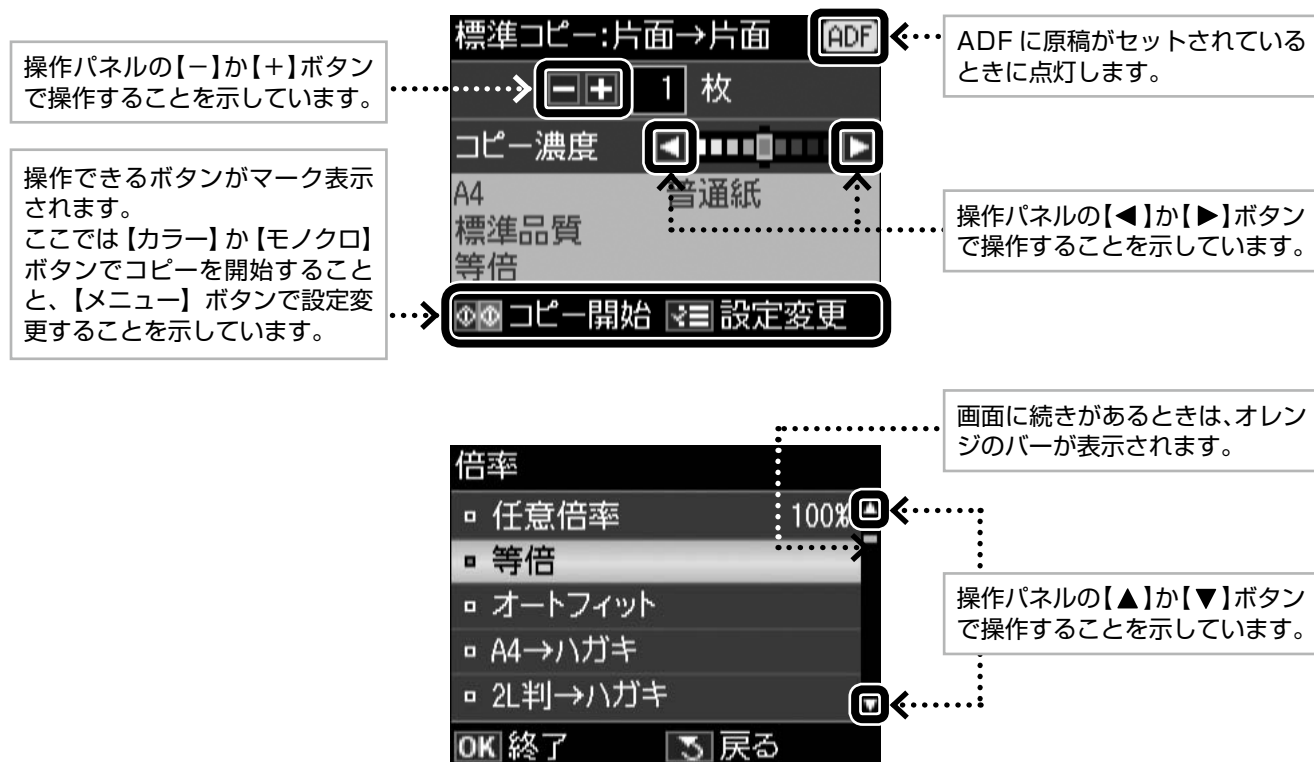
15 【ストップ】ボタン

印刷を中止します。

画面上のガイド

各画面で操作できるボタンを、アイコンを使ったガイドで表示します。
ガイドの意味を覚えておくと、ガイドを見ながら操作を進めることができます。

操作パネルの【－】か【＋】ボタンで操作することを示しています。

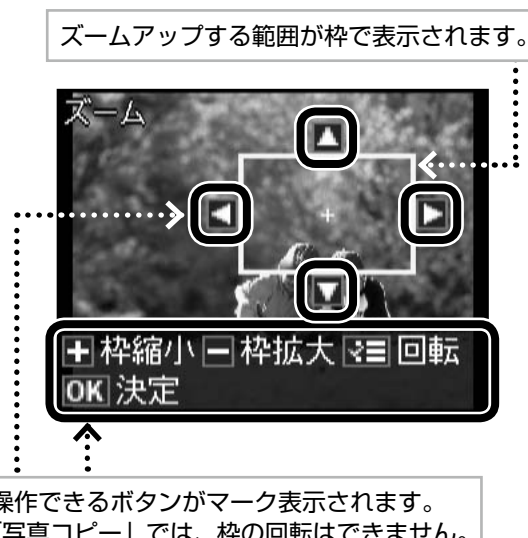
操作できるボタンがマーク表示されます。
ここでは【カラー】か【モノクロ】ボタンでコピーを開始することと、【メニュー】ボタンで設定変更することを示しています。

ホーム画面

電源を入れたときや、【リセット】ボタンを押したときに表示される画面です。この画面で数字を入力して、コピーやファクス送信を実行することができます。
☞22 ページ「コピーをする」
☞30 ページ「ファクス送信をする」

パソコンとの接続状態がアイコン表示されます。
アイコンの意味は本体のヘルプをご覧ください。
本体のヘルプは【ヘルプ】ボタンを押して、［操作方法がわからない］－［画面に表示されるアイコンの意味］の順に選択して表示します。

写真のズーム設定画面

写真の選択画面で【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、ズーム枠が表示されます。
ガイドに従って、ズーム枠を移動したり大きさや向きを変えたりしてズーム範囲を指定すると、写真の一部分をズームアップして印刷できます。

画面のメニュー構成は 78 ページ「操作パネルのメニュー一覧」をご覧ください。

印刷用紙の種類と設定

使用できる用紙

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙のご使用をお勧めします。セット可能枚数を超えてセットしないでください。以下は 2011 年 5 月現在の情報です。

エプソン製専用紙（純正品）

用紙種類*1	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
写真用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・六切・A4・四切・A3・A3 ノビ*2	20 枚*3	より光沢のある面
	写真用紙＜光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・ハイビジョンサイズ・六切・A4・四切・A3・A3 ノビ*2	20 枚*3	
	写真用紙エントリー＜光沢＞	L 判・KG サイズ・2L 判・A4・A3・A3 ノビ*2	20 枚*3	
	写真用紙＜絹目調＞	L 判・2L 判・A4・A3・A3 ノビ*2	20 枚*3	
光沢紙	フォト光沢紙	A4	20 枚	より光沢のある面
マット紙	スーパーファイン紙	A4・A3・A3 ノビ*2	80 枚	より白い面
	フォトマット紙	A4・A3・A3 ノビ*2	20 枚	
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞*4	A4 *5・A3	200 枚*6	両面
ハガキ	スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ*5	50 枚	両面
バラエティー用紙	スーパーファイン専用ラベルシート	A4	1 枚	白い面

＊ 1： 用紙カセット 2 は B5 サイズ以上の用紙をセットできます。
＊ 2： パソコンからの印刷時のみ対応です。
＊ 3： 印刷結果がこすれたりムラになったりするときは 1 枚ずつセットしてください。
＊ 4： エプソン製の、古紙 100%配合の再生紙です。
＊ 5： PX-1700F では自動両面印刷ができます。
＊ 6： 手動両面印刷時は 30 枚までです。

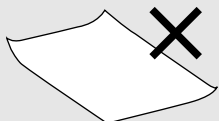
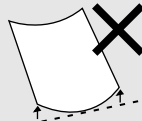
市販の用紙

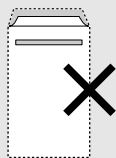
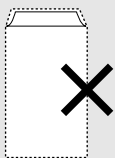
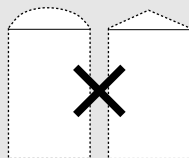
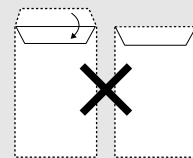
用紙種類*1	用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	印刷できる面
普通紙	コピー用紙・事務用普通紙	A6 *2・A5 *2・B5 *3・A4 *3・B4・A3・A3 ノビ*2・Letter *2 *3	エッジガイドの上限まで*4 ▽マーク下の線を超えない	両面
		Legal *2	30 枚*5	
		ユーザー定義サイズ*2	1 枚	
ハガキ*7	郵便ハガキ*6	ハガキ*3	50 枚*4	両面
	郵便ハガキ（インクジェット紙）*6	ハガキ*3	50 枚*4	
	往復ハガキ*2 *6	往復ハガキ	30 枚	
封筒	封筒*2	角形 2 号・長形 3 号・4 号	10 枚	両面
		洋形 1 号･2 号･3 号･4 号	10 枚	宛名面のみ

＊ 1： 用紙カセット 2 は B5 サイズ以上の用紙をセットできます。
＊ 2： パソコンからの印刷時のみ対応です。
＊ 3： PX-1700F では自動両面印刷ができます。
＊ 4： 手動両面印刷時は 30 枚までです。
＊ 5： 手動両面印刷時は 1 枚です。
＊ 6： 郵便事業株式会社製。
＊ 7： 郵便ハガキ＜写真用＞は対応していません。

使用できない用紙

次のような用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 波打っている用紙
- 破れている用紙
- 切れている用紙

- 角が反っている用紙
- 折りがある用紙
- 一度折った往復ハガキ

- 丸まっている用紙
- 反っている用紙

- 写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキ
- シールなどを貼った用紙
- 穴があいている用紙
- 湿った用紙

- のり付けおよび接着の処理が施された封筒

- 二重封筒
- 窓付きの封筒

- フラップが円弧や三角形状の角形・長形封筒

- フラップを一度折った角形・長形封筒

［用紙種類］の設定

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した［用紙種類］を設定してください。

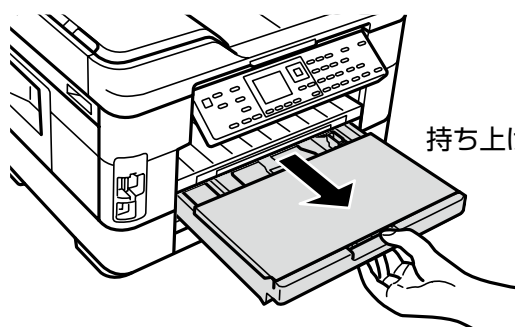
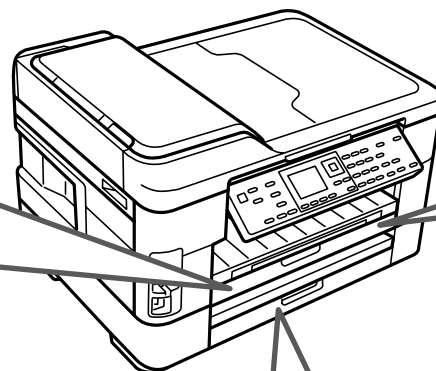
	用紙名称	［用紙種類］の設定		
		コピー	写真の印刷	パソコンから印刷
写真用紙	写真用紙クリスピア＜高光沢＞	EPSON クリスピア		EPSON 写真用紙クリスピア
	写真用紙＜光沢＞ 写真用紙＜絹目調＞	写真用紙		EPSON 写真用紙
	写真用紙エントリー＜光沢＞	写真用紙エントリー		EPSON 写真用紙エントリー
光沢紙	フォト光沢紙	フォト光沢紙		EPSON フォト光沢紙
マット紙	フォトマット紙	フォトマット紙		EPSON フォトマット紙
	スーパーファイン紙	スーパーファイン紙	×	EPSON スーパーファイン紙
普通紙	両面上質普通紙＜再生紙＞ コピー用紙・事務用普通紙	普通紙		普通紙
ハガキ*2	郵便ハガキ*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ
	往復ハガキ*1	×		郵便ハガキ
	郵便ハガキ（インクジェット紙）*1	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
	スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：郵便ハガキ 通信面：郵便 IJ ハガキ		宛名面：郵便ハガキ 通信面：EPSON スーパーファイン紙
バラエティー用紙	スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙	×	EPSON スーパーファイン紙
封筒	封筒	×		封筒*3

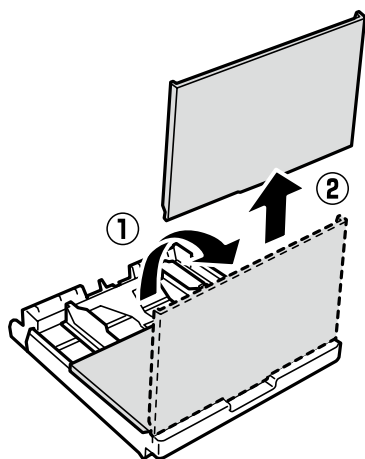
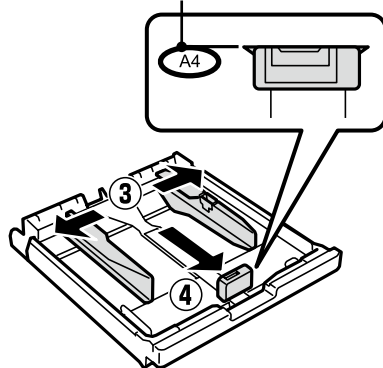
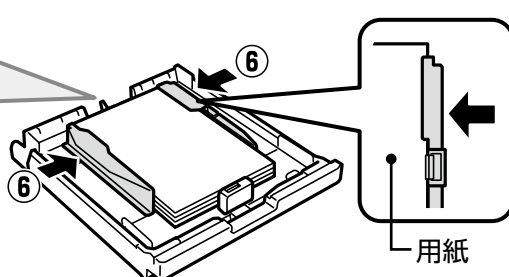
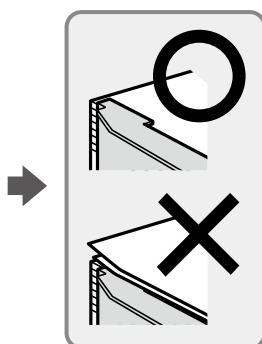
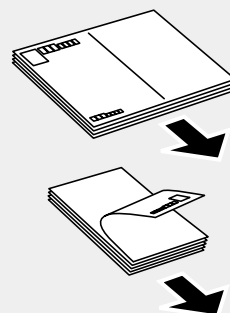
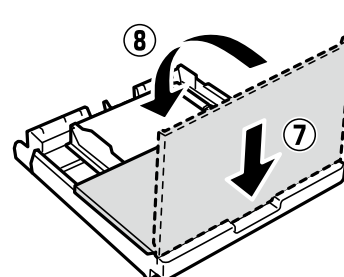
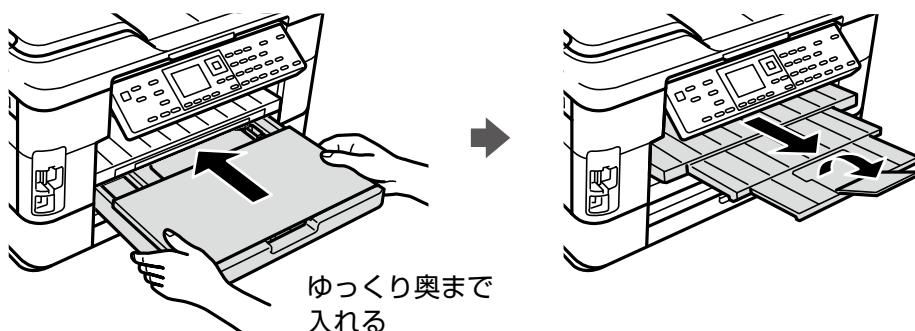
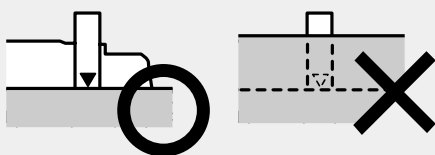
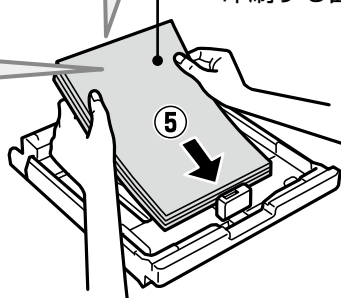
×：非対応です。

＊ 1： 郵便事業株式会社製。
＊ 2： 郵便ハガキ＜写真用＞は対応していません。
＊ 3： 角形 2 号・長形 3 号・4 号封筒は、Windows パソコンからの印刷のみに対応しています（Mac OS X は非対応）。

印刷用紙のセット

1 用紙カセットを抜く

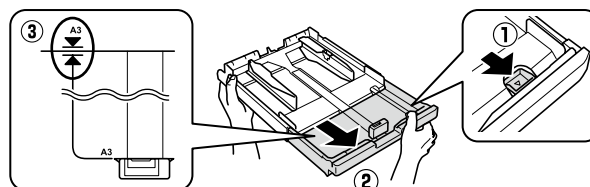
動作中は用紙カセットを抜き差ししないでください。

2 カバーを取り外して、用紙をセットする

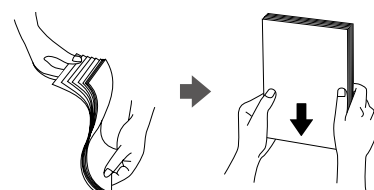
ここでは A4 サイズの用紙セットを例に説明しますが、L 判やハガキなどの小さい用紙もセット方法は同様です。
封筒のセット方法は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「印刷」－「封筒の印刷」をご覧ください。

3 用紙カセットをセットして、排紙トレイを引き出す

用紙カセットの使い方（PX-1700F のみ）

- 用紙カセット 1 には、対応しているすべての用紙がセットできます。
- 用紙カセット 2 には、B5 サイズ以上の用紙がセットできます。
- 用紙カセット 1・2 とも印刷用紙のセット方法は同じです。
- 用紙カセット 1 と 2 を入れ替えてセットすることはできません。
- 用紙をセットしたら【セットアップ】ボタンを押し、［プリンターの基本設定］－［給紙装置の用紙サイズ設定］でセットした用紙サイズを選択してください。
  ☞ 53 ページ「給紙装置の設定（PX-1700F のみ）」

A4 サイズより長い用紙をセットするときは

下図のように左手で用紙トレイを押さえながら、右手で①の部分を押して、用紙カセットを手前に引き伸ばします。B4・A3 サイズをセットするときは、左側の刻印を③のように合わせてください。

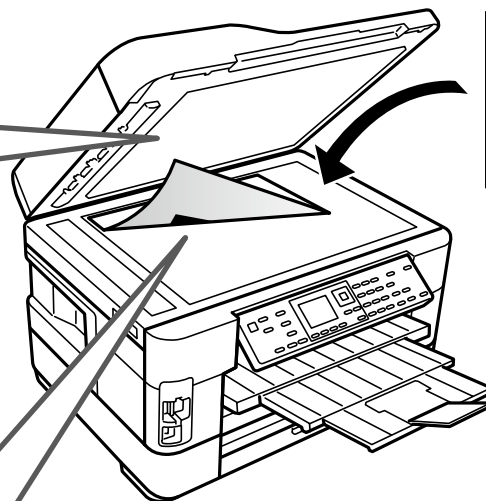
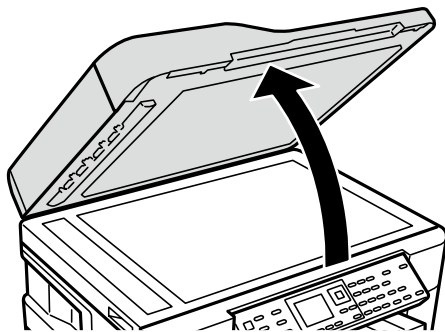
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「印刷」－「印刷できる用紙と設定」

用紙の取り扱いについて

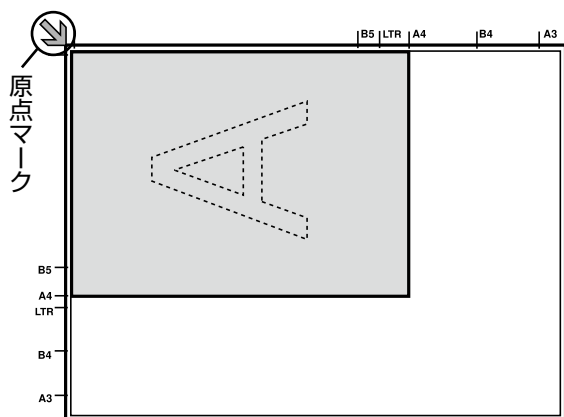
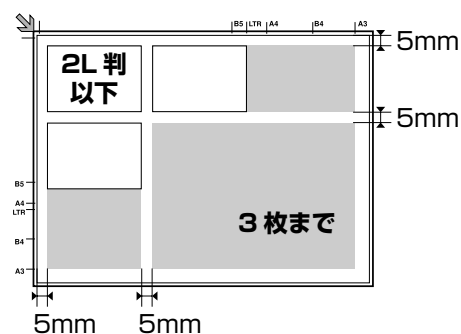
- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項をご確認ください。
- 用紙を複数枚セットするときは、右図のようによくさばいて紙粉を落とし、整えてからセットしてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。

コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。

写真の印刷をするときは 43 ページ「写真の印刷（メモリーカードから印刷）」をご覧ください。

原稿のセット

原稿台へのセット

1 原稿カバーを開ける

2 原稿をセットして、カバーを閉じる

スキャンする面を下にして、ガラス面の角（原点マーク側）に合わせる

※ 正常にコピーできないときは、1 枚ずつセットしてください。

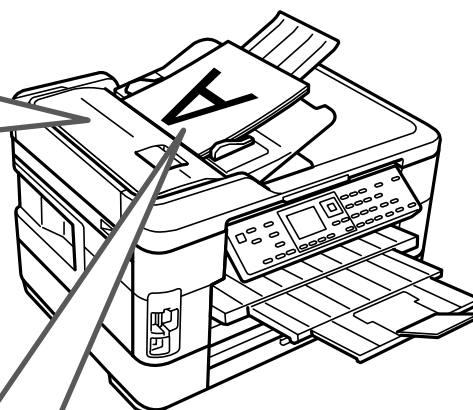
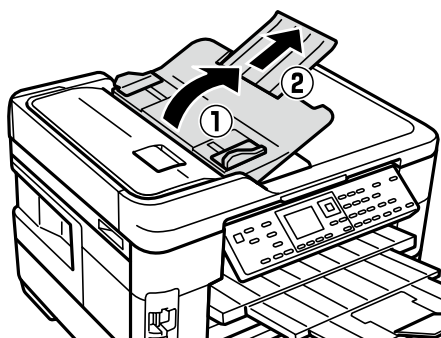
重要

- 原稿カバーは、途中で止まるようにできています。ただし、原稿カバーの角度が浅いと止まりません。指を挟まないよう注意しながら、ゆっくり開閉してください。
- 原稿をセットする前に、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。
- コピーが終了したら、原稿を取り出してください。原稿を長時間セットしたままにすると原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 原稿台の上端から 1.5mm、左端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。

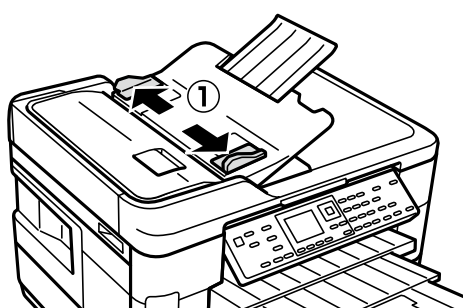
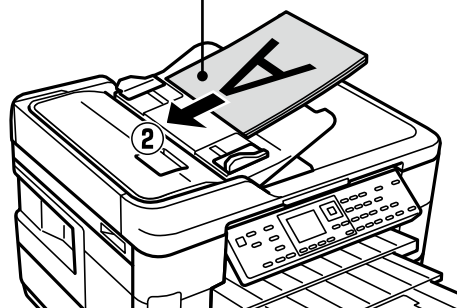
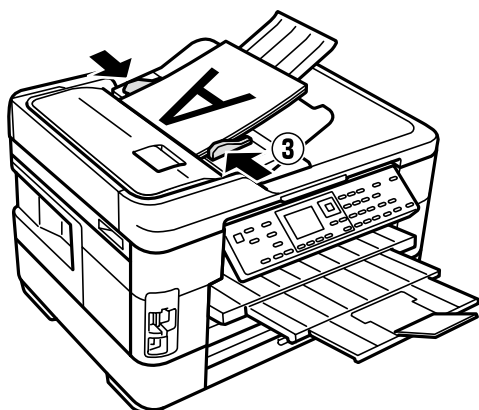
オートドキュメントフィーダーへのセット

!重要

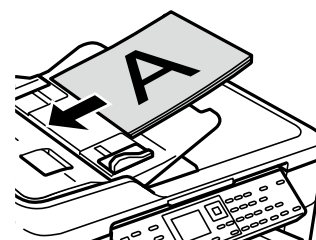
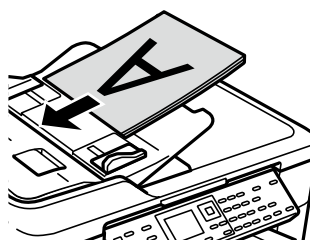
ADF 使用時の注意事項（セットできない原稿など）は、以下のページをご覧ください。
☞69 ページ「オートドキュメントフィーダー使用時のご注意」

1 ADF を開けて引き出す

2 原稿（A4・B4・A3 サイズの普通紙）をセットする

エッジガイドを広げる

セット可能枚数は 30 枚または 3mm

スキャンする面を上にしてセット

エッジガイドを原稿の側面に合わせる

2 アップ機能を使う場合

2 枚の原稿を 1 枚の用紙にコピー（2 アップ）するときは、原稿の向きを下図のよう（スキャンする面を上）にセットします。

コピー後のイメージは、以下のページをご覧ください。
☞ 25 ページ「用紙とコピーの設定」

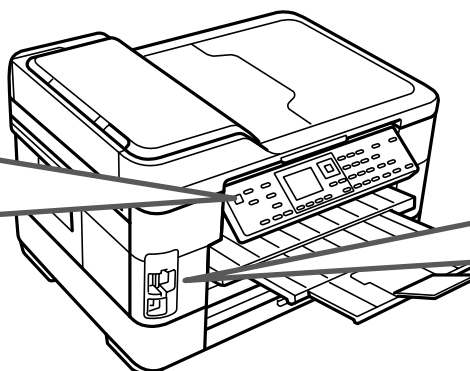
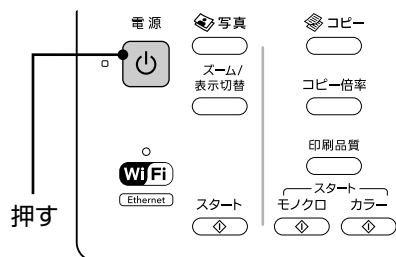
コピーをするときは 22 ページ「コピーをする」をご覧ください。

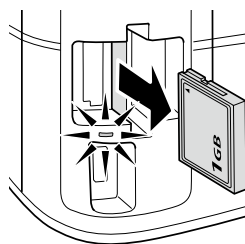
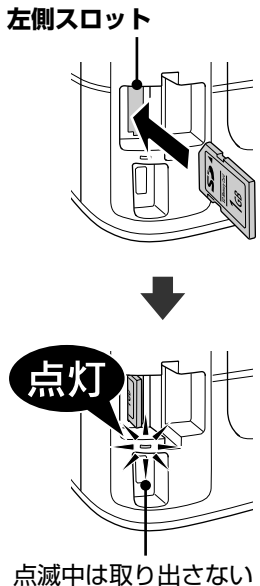
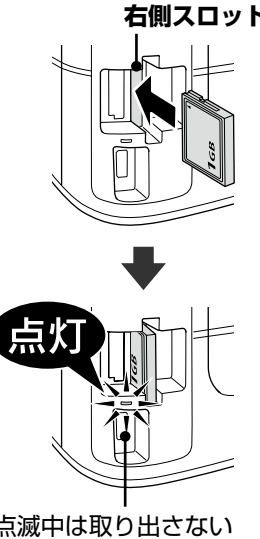
メモリーカードのセットと取り出し

メモリーカードのセット

参考

- サポートしているメモリーカードの最大容量は以下のページをご覧ください。
  ☞71 ページ「メモリーカードの最大容量」
- 対応しているメモリーカードは 2011 年 5 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ）」でご確認ください。
  < http://www.epson.jp/faq/ >

1 電源を入れる

メモリーカードの取り出し

どちらのスロットも、下図のように取り出します。

ランプの点灯（点滅していないこと）
を確認して引き抜く

！重要

- ランプの点滅中（通信中）は、メモリーカードを取り出さないでください。保存されているデータが壊れるおそれがあります。
- パソコンでメモリーカードドライブとして使用しているときは、以下を参照して取り出してください。
  ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「その他の機能」－「共有ドライブとしての使い方」

2 メモリーカードを 1 枚だけセットする

セット方法	使用できるメモリーカードの種類

左側スロット

点灯

点滅中は取り出さない

- そのままセットできるメモリーカード

xD-Picture Card ™
xD-Picture Card ™ Type H
xD-Picture Card ™ Type M
xD-Picture Card ™ Type M +

メモリースティック
メモリースティック PRO
マジックゲートメモリースティック

SD メモリーカード
SDHC メモリーカード
SDXC メモリーカード
マルチメディアカード
マルチメディアカードプラス

- 専用アダプターが必要なメモリーカード
  装着せずにセットすると、カードが取り出せなくなるおそれがあります。上記の「そのままセットできるメモリーカード」と同じサイズになるアダプターを用意してください。

メモリースティック Duo
メモリースティック PRO Duo
メモリースティック PRO HG Duo
マジックゲートメモリースティック Duo
メモリースティック マイクロ

miniSD カード
miniSDHC カード
microSD カード
microSDHC カード
マルチメディアカードマイクロ

マルチメディアカードモバイル

コンパクトフラッシュ

マイクロドライブ

写真の印刷をするときは 43 ページ「写真の印刷（メモリーカードから印刷）」をご覧ください。

印刷用紙・原稿・メモリーカードのセット

コピーをする

コピーの前に、以下の作業が終了していることを確認してください。

- 操作パネルの角度調整 ☞12 ページ
- 印刷用紙のセット ☞16 ページ
- 排紙トレイの引き出し ☞17 ページ
- 給紙装置の用紙サイズ設定（PX-1700F のみ）☞53 ページ
- 原稿のセット ☞18 ページ

参考

- 設定を変更前の状態に戻すときは、【リセット】ボタンを押します。
- コピーに不要なボタンを押すと設定がリセットされ、変更前の状態に戻ります。
- コピーを中止するときは【ストップ】ボタンを押します。

■ 簡単コピー

コピー枚数を入力して【スタート】ボタンを押すだけで、コピーができます。

1 枚数設定をします。

数字を入力すると、入力枠が表示されます。
1 ～ 99 枚の間で設定してください。

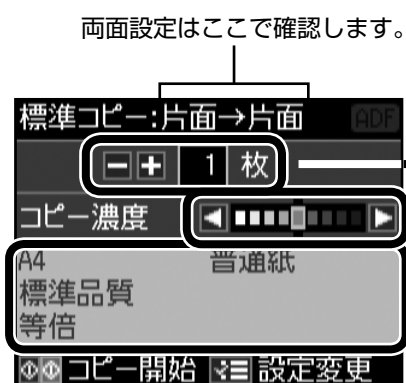
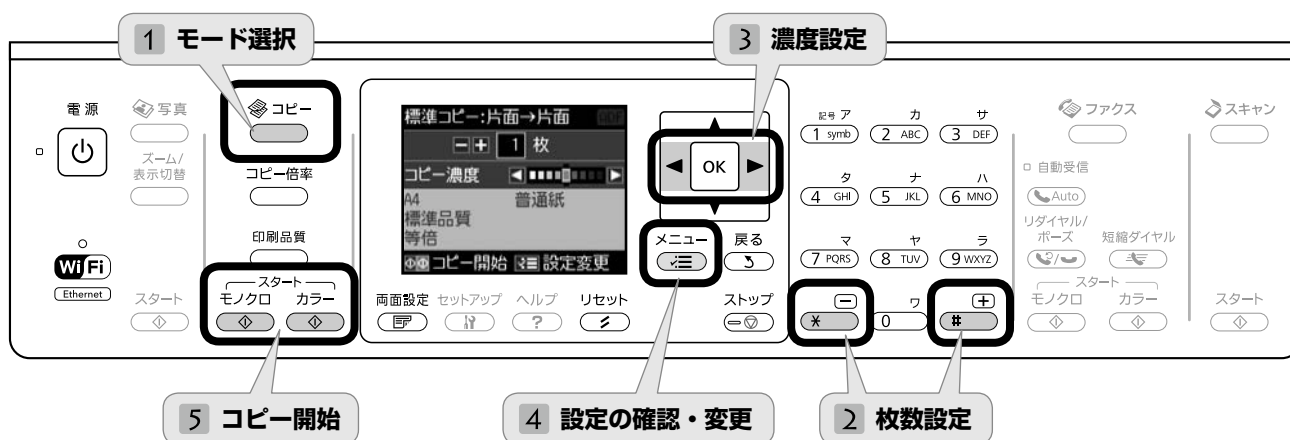
2 コピーを開始します。

モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

参考

- 上記の画面になっていないときは、枚数設定の前に【リセット】ボタンを押します。
- 製品購入時は A4・普通紙・標準品質・等倍に設定されていますが、よく使う設定に変更することもできます。
☞24 ページ「コピー設定の変更」

■ 基本コピー

コピー濃度・用紙サイズ・用紙種類・印刷品質・倍率などのコピー設定を確認・変更してコピーします。

1 コピーモードにします。

2 枚数設定します。

テンキー（数字キー）でも設定できます。

3 濃度設定をします。

原稿の画質が薄いときは濃度を上げてください。こすれが発生するときは濃度を下げてください。

4 設定の確認をします。

用紙サイズ・用紙種類・印刷品質・倍率など、詳細なコピー設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押してください。
☞24 ページ「コピー設定の変更」
セットした原稿に合わせて設定を変更してください。

5 コピーを開始します。

モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

参考

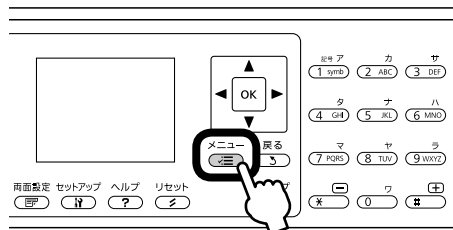
コピー倍率・印刷品質・両面設定（PX-1700F のみ）には、設定画面を直接表示するためのボタンがあります。
【メニュー】ボタンを押さなくても、以下の手順で設定が変更できます。

① 変更する項目のボタンを押します。
②【▲】か【▼】ボタンで、設定値を選択します。
③【OK】ボタンを押します。

コピーモード

コピー設定の変更

23 ページ「基本コピー」の手順 4「設定の確認・変更」では、右記の設定が変更できます。なお、組み合わせによっては表示されない項目があります。

1 【メニュー】ボタンを押して、[コピーメニュー] 画面を表示させます。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー(右記)を選択して、【OK】ボタンで決定します。

3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで設定値を表示させます。

4 【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

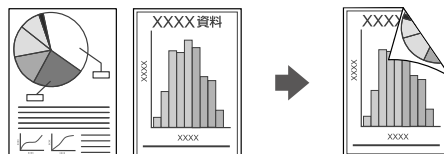
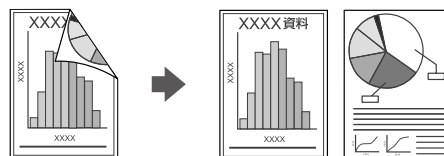
5 【メニュー】ボタンを押して、設定メニューを閉じます。

用紙とコピーの設定

両面(PX-1700F のみ)

両面コピーの設定をします。

[片面→片面]
片面の原稿を片面コピーします。

[片面→両面]
2 枚の片面原稿を両面コピーします。

[両面→片面]
両面の原稿を片面コピーします。

[両面→両面]
両面の原稿を両面コピーします。

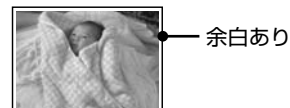
部単位でコピー

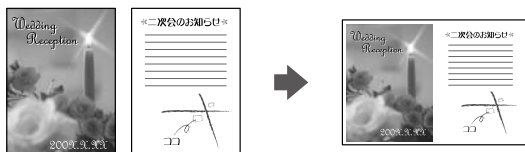
部数ごと分けてコピーします。

[しない]・[する]

レイアウト

コピーのレイアウトを選択します。

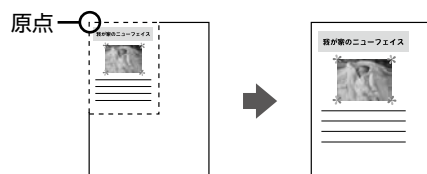
[標準コピー]
周囲に約 3mm の余白あり(フチあり)でコピーします。

[フチなしコピー]
余白なし(フチなし)でコピーします。

[A4 原稿を 2 アップ]・[A3 原稿を 2 アップ]・[B5 原稿を 2 アップ]
2 枚の原稿（A4・A3・B5 サイズ）を 1 枚の用紙にコピーします。原稿サイズによって選択できる用紙サイズが異なります。

倍率

コピー倍率を選択します。

[任意倍率]
【▲】か【▼】ボタンまたはテンキーで、任意の倍率に変更します。
【▲】か【▼】ボタンを長めに押すと、10%刻みで設定できます。

[等倍]
100%の倍率でコピーします。

[オートフィット]
原点からの余白を含めて原稿の文字や画像のある部分をスキャンし、そのデータを用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小してコピーします。

[A4 →ハガキ]・[B5 → A4]・[A3 → A4] など
A 判、B 判、ハガキなどの定形用紙に合わせた倍率で拡大 / 縮小してコピーします。【+】か【−】ボタンで倍率の微調整もできます。

用紙サイズ

使用する印刷用紙のサイズを選択します。

[A4]・[A3]・[B5]・[B4]・[L 判]・[2L 判]・[ハガキ]・[KG サイズ]・[六切]・[四切]

用紙種類

使用する印刷用紙の種類を選択します。
☞15 ページ「[用紙種類] の設定」

印刷品質

コピーの印刷品質を選択します。

[エコノミー]・[標準品質]・[きれい]

[エコノミー] では、速度優先でコピーするため、薄く印刷されます。
[きれい] では、品質優先でコピーするため、印刷速度が遅くなります。

原稿の向き

原稿の向きを選択します。

[縦]・[横]

原稿とじ位置（PX-1700F のみ）

原稿のとじ位置を選択します。

[左]・[上]

印刷とじ位置（PX-1700F のみ）

印刷結果のとじ位置を選択します。

[左]・[上]

両面・乾燥時間（PX-1700F のみ）

両面コピー時の乾燥時間を選択します。

[標準]・[長い]・[より長い]

印刷結果にこすれが発生するときは [長い]・[より長い] を選択してください。

フチなしはみ出し量

フチなしコピー時のはみ出し量を選択します。

[標準]・[少ない]・[より少ない]

少し欠ける

[標準]

[少ない]

[より少ない]

フチなしコピーでは、原稿を印刷用紙のサイズよりも少し拡大し、はみ出させて印刷します。[少ない]・[より少ない] を選択すると、はみ出し量は少なくなりますが、余白ができることがあります。

現在の設定を登録

変更した設定を既定値として登録します。

[はい]・[いいえ]

写真コピー

☞47 ページ「写真コピー」

ファクスの流れ

ファクスの準備

ソフトウェアのインストール時にファクス設定をした方は、本作業が終了しています。30 ページ「ファクス送信をする」に進んでください。
インストール時にファクス設定をしなかった方、または設定内容を変更したい方は、以下の作業を行ってください。
なお、本製品をパソコンと接続して使うときは『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ファクス」をご覧ください。

1 基本設定をする ☞27 ページ「ファクスの準備」

［呼び出し回数］・［回線種別］・［自局設定］を設定します。

2 受信設定をする ☞38 ページ「いろいろなファクス受信機能」

受信方法を設定します。ファクスのご使用が多い方は自動受信をお勧めします。【自動受信】ボタンを押すと自動受信モード（自動受信ランプ点灯）になります。

以上で準備は終了です。

ファクスの接続状態を確認するときは、以下のページをご覧ください。
☞42 ページ「ファクス機能診断」

ファクスを送信する

宛先を入力してファクスを送信する ☞30 ページ「ファクス送信をする」

便利な機能を使う

電話番号を登録する
☞40 ページ「短縮ダイヤル登録」
☞41 ページ「グループダイヤル設定」

短縮ダイヤル・グループダイヤルの一覧を確認する
☞42 ページ「レポート印刷」

短縮ダイヤル・グループダイヤルで送信する
☞34 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」

最後に送信した宛先にもう一度送信する
☞34 ページ「リダイヤル送信」

時刻を指定して送信する
☞35 ページ「時刻指定送信」

複数の宛先に同時送信する
☞36 ページ「順次同報送信」

情報サービスを使って受信する
☞39 ページ「ポーリング受信」

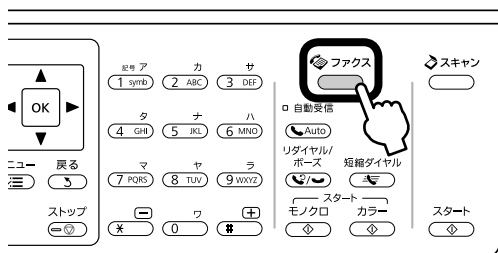
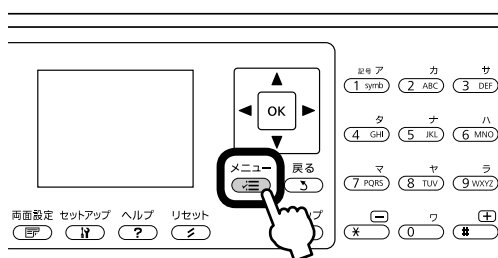
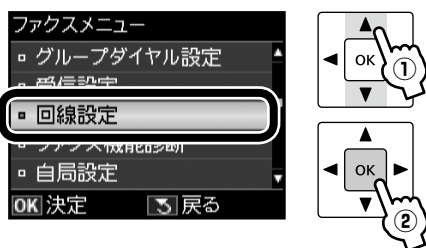
送信結果の一覧表を確認する・受信文書を再印字する
☞42 ページ「レポート印刷」

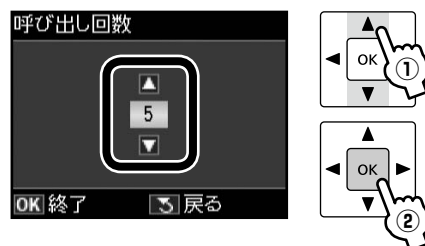
ファクスの準備

ソフトウェアのインストール時にファクス設定を行わなかったときや、各設定を変更するときは、操作パネルで以下の設定をしてください。

呼び出し回数

ファクス受信するまでの呼び出し回数を設定します。

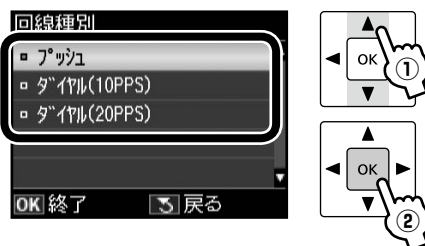
1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー]画面を表示させます。

3 [回線設定] を選択します。

4 [呼び出し回数] を選択します。

5 【▲】か【▼】ボタンで呼び出し回数を設定して、【OK】ボタンで決定します。

テンキー（数字キー）でも入力できます。

回線種別

ファクス通信するための回線を設定します。
回線種別は、初回の送信時のみ自動で設定されます。自動で設定されないときや、電話回線を変更したときに手動で変更してください。

1 前項「呼び出し回数」の手順 4 の画面で、[回線種別] を選択します。

2 回線種別を選択します。

参考

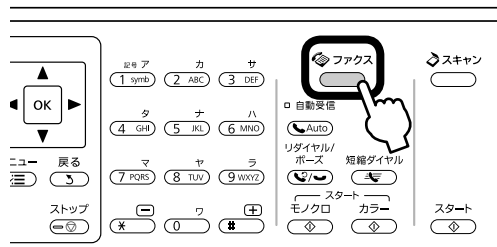
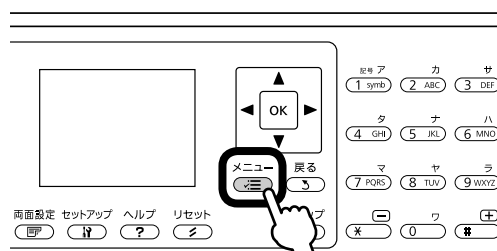
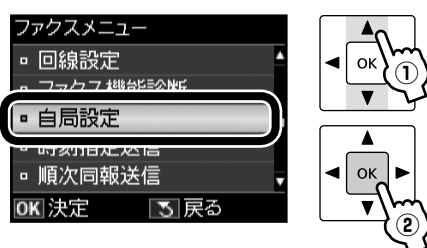
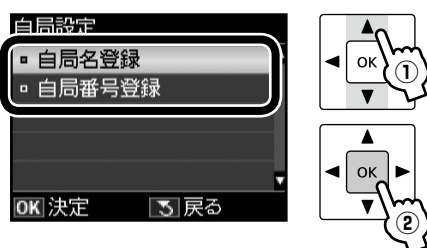
- 各設定の詳細は、以下のページをご覧ください。
  ☞33 ページ「回線種別」
- 使用している回線種別がわからないときは、[プッシュ]→[ダイヤル(10PPS)]→[ダイヤル(20PPS)]の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してみてください。

以上で、操作は終了です。

ファクスモード

自局設定

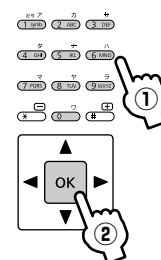
自局名と自局番号を設定します。

1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー]画面を表示させます。

3 [自局設定]を選択します。

4 [自局名登録]または[自局番号登録]を選択します。

5 名前または番号を入力します。

<自局名>

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。

☞29ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」

<自局番号>

自局名で 40 文字、自局番号で 20 文字まで入力できます。
入力できる文字種は、以下のページをご覧ください。

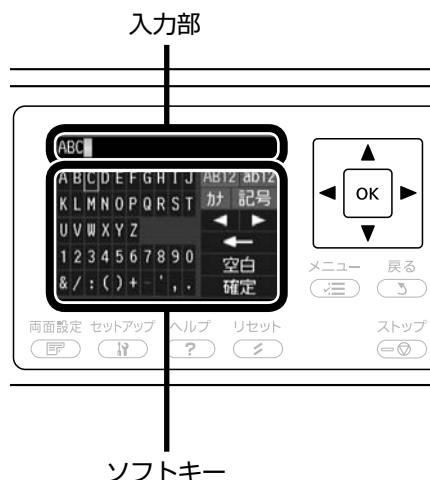
☞29 ページ「入力できる文字」

以上で、操作は終了です。

ソフトキーの使い方と入力できる文字

短縮ダイヤルやグループダイヤルの登録などで文字や記号を入力するときには、入力のための専用画面（ソフトキーの画面）が表示されます。設定する項目によって表示される画面は異なりますが、ネットワーク設定でも同様の操作で入力できます。

ソフトキーの使い方

ソフトキーの画面は「入力部」と「ソフトキー」に分かれています。
「入力部」のカーソル移動および入力操作は、「ソフトキー」と操作パネルの【OK】ボタンで行います。
「ソフトキー」のカーソル移動および操作は、操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】【OK】ボタンで行います。

- **ソフトキーのカーソル移動**
  操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで移動します。
- **入力部への文字入力**
  操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンで選択して、【OK】ボタンを押します。
- **入力文字の切り替え**
  ソフトキー画面右上の［AB12］・［ab12］・［カナ］・［記号］キーのいずれかを選択して、【OK】ボタンで決定します。
  本ページ「入力できる文字」
- **入力部のカーソル移動**
  ソフトキーの［◀］または［▶］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
- **文字の削除**
  ソフトキーの［←］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押すと、左側に向かって 1 文字ずつ削除されます。
- **スペースの入力**
  ソフトキーの［空白］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。
- **入力の終了**
  ソフトキーの［確定］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

入力できる文字

操作パネルの【▲】【▼】【◀】【▶】ボタンでソフトキー画面右上の［AB12］・［ab12］・［カナ］・［記号］キーから、入力したい文字種を選択して、【OK】ボタンで決定します。

［AB12］モード

［ab12］モード

［カナ］モード

［記号］モード

参考

文字入力は、操作パネルのテンキー（数字キー）でもできます。

ファクス送信をする

ファクス送信の前に、以下の作業が終了していることを確認してください。

- 操作パネルの角度調整 ☞12 ページ
- 原稿のセット ☞18 ページ

参考

- 設定を変更前の状態に戻すときは、【リセット】ボタンを押します。
- ファクスに不要なボタンを押すと設定がリセットされ、変更前の状態に戻ります。
- 番号入力中に【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押すと、宛先に「－」が入り、約 3 秒間の間隔（ポーズ）を設定します。
- 番号などの入力中に【◀】ボタンを押すと 1 文字戻って消去し、【▶】ボタンを押すとスペースが入ります。
- ファクス送信を中止するときは【ストップ】ボタンを押します。
- ファクス送信後、相手先番号が話し中などでつながらないときは、自動で 2 回、1 分おきにリダイヤルします。

■ 簡単ファクス送信

ファクス番号を入力して【スタート】ボタンを押すだけで、ファクス送信できます。

1 送信先を入力します。

数字を入力すると、入力枠が表示されます。

2 ファクス送信を開始します。

モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。
ただし、カラー送信できるのは A4 サイズのみです。

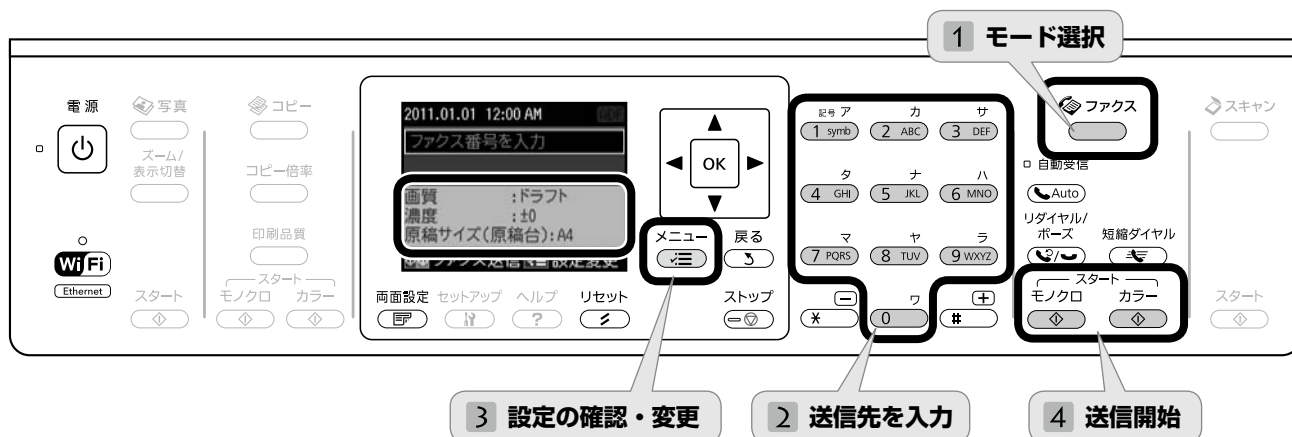
この後は、画面の指示に従って操作してください。

参考

- 上記の画面になっていないときは、送信先を入力する前に【リセット】ボタンを押してください。
- 製品購入時は［画質：標準］・［濃度：± 0］・［両面設定：オフ］に設定されていますが、よく使う設定に変更することもできます。
☞32 ページ「ファクス設定の変更」

■ 基本ファクス送信

画質・両面設定・濃度などのファクス設定を確認・変更して送信します。

1 モード選択
2 送信先を入力
3 設定の確認・変更
4 送信開始

1 ファクスモードにします。

2 送信先を入力します。

3 設定の確認をします。

画質·濃度など、詳細なファクス設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押しください。
32 ページ「ファクス設定の変更」
原稿台にセットした原稿に合わせて設定を変更してください。ADF にセットした原稿のサイズは自動識別されます。

4 ファクス送信を開始します。

モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。
ただし、カラー送信できるのは A4 サイズのみです。

この後は、画面の指示に従って操作してください。

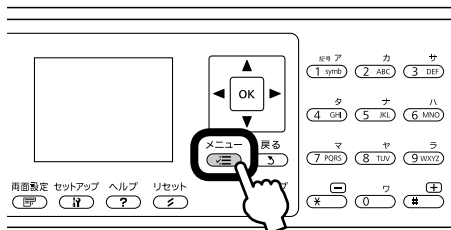
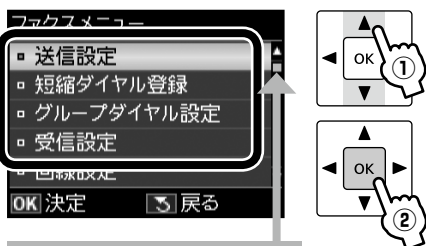
参考

PX-1700F には､両面設定画面（両面原稿送信の［オン］･［オフ］設定画面）を直接表示するためのボタンがあります。
【メニュー】ボタンを押さなくても、以下の手順で設定が変更できます。
①【両面設定】ボタンを押します。
②【▲】か【▼】ボタンで、設定値を選択します。
③【OK】ボタンを押します。
・ 両面設定を［オン］にしたときには、原稿は ADF にセットしてください。
・ 両面ファクスはモノクロ送信のみ対応です。

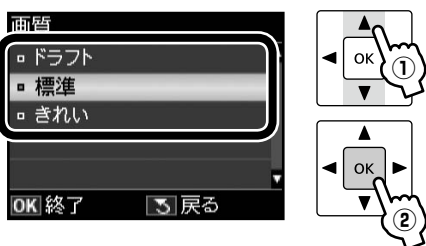
ファクスモード

ファクス設定の変更

31 ページ「基本ファクス送信」の手順 3「設定の確認･変更」では、右記の設定が変更できます。なお、組み合わせによっては表示されない項目があります。

1 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー]画面を表示させます。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー(右記)を選択して、【OK】ボタンで決定します。

オレンジのバーは続きがあることを示しています。

3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで設定値を表示させます。

4 【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定します。

5 【メニュー】ボタンを押して、設定メニューを閉じます。

送信設定

画質

ファクス送信時の画質を設定します。

[ドラフト]・[標準]・[きれい]

文字と写真が混在した原稿では、[きれい] を選択することをお勧めします。
ただし、原稿の内容や画質によって、ファクス送信にかかる時間が異なります。

濃度

ファクス送信時の濃度を－４～＋４の間で設定します。

両面設定（PX-1700F のみ）

ADF から送信するモノクロ原稿が両面（オン）か片面（オフ）かを選択します。
カラー送信や原稿台からの送信は片面（オフ）を選択してください。

[オフ]・[オン]

原稿サイズ（原稿台）

原稿台にセットする原稿サイズを選択します。
ADF は原稿サイズを自動識別します。

[A4]・[B4]・[A3]

現在の設定を登録

変更した設定を既定値として登録します。

[はい]・[いいえ]

送信結果レポート印刷

通信結果レポートの印刷条件を設定します。

[エラー時のみ]・[する]・[しない]

[する] を選択すると、通信後毎回レポートが印刷されます。

短縮ダイヤル登録

☞40 ページ「短縮ダイヤル登録」

グループダイヤル設定

☞41 ページ「グループダイヤル設定」

受信設定

用紙サイズ（PX-1600F のみ）

用紙サイズを選択します。

[A4]・[B4]・[A3]

ファクス給紙装置設定（PX-1700F のみ）

給紙する用紙カセットを選択します。

[用紙カセット 1]：使用する・使用しない
[用紙カセット 2]：使用する・使用しない

☞53 ページ「給紙装置の設定（PX-1700F のみ）」
用紙カセット 1・2 に異なるサイズの普通紙をセットし、両方とも［使用する］を選択すると、受信データに合った用紙サイズから給紙します。ただし、カラー受信は A4 サイズ以下のみ可能です。

自動縮小印刷

受信データのサイズが用紙サイズより長いときに、縮小印刷するかしないかを設定します。
ただし、データによっては縮小されないことがあります。

[する]・[しない]

ファクス出力設定

受信したデータの出力先を確認します。

[印刷]・[保存]

初期値は［印刷］です。［保存］（パソコンに受信）はパソコンから Fax Utility で設定します。詳細は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ファクス」－「ファクス受信の基本」をご覧ください。

回線設定

エラー訂正（ECM）

回線トラブルを自動的に修復する ECM 機能を有効にするかどうかを設定します。

[する]・[しない]

通信開始速度

通信開始の速度を設定します。

[33,600bps]・[14,400bps]

通信エラーが頻繁に起きるときや、海外または IP 電話環境で通信するときは、［14,400bps］に設定することをお勧めします。

呼び出し回数

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を 1 ～ 15 の間で設定します（初期値 5）。
ただし、回数を多くし過ぎると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
☞27 ページ「呼び出し回数」

ダイヤルトーン検出

ダイヤルトーンを検出してからダイヤルを開始するかどうかを設定します。

[する]・[しない]

［する］に設定すると、早く確実にダイヤルできます。接続環境によってダイヤルできないときは、［しない］に設定してください。ただし、環境によっては番号の最初が抜けるなど誤った番号に接続されてしまう可能性があります。

回線種別

電話回線の回線種別を設定します。
☞27 ページ「回線種別」

[プッシュ]

プッシュ回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに「ピッポッパ」という音がするタイプの回線）をお使いのときに選択してください。

[ダイヤル（10PPS）]・[ダイヤル（20PPS）]

ダイヤル回線（電話機のダイヤルボタンを押したときに「カタカタカタ」または「ジージージー」という音がするタイプの回線）をお使いのときに選択してください。

ファクス機能診断

☞42 ページ「ファクス機能診断」

自局設定

☞28 ページ「自局設定」

時刻指定送信

☞35 ページ「時刻指定送信」

順次同報送信

☞36 ページ「順次同報送信」

ポーリング受信

☞39 ページ「ポーリング受信」

レポート印刷

☞42 ページ「レポート印刷」

いろいろなファクス送信機能

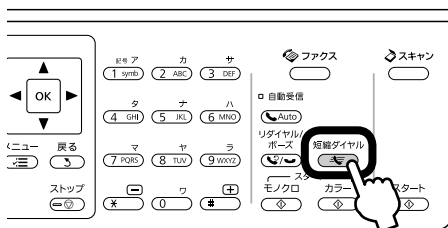
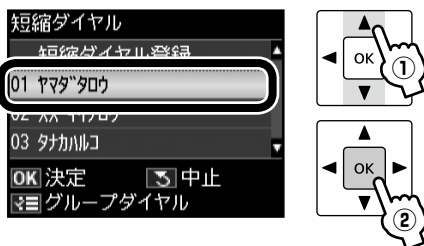
短縮ダイヤル・グループダイヤル送信

短縮ダイヤルを登録しておくと、宛先番号の入力が簡略化できます。また、短縮ダイヤルをグループにして登録しておくと、一度の操作で複数の宛先が指定できます。

短縮ダイヤル・グループダイヤルの登録方法は、以下のページをご覧ください。
☞40 ページ「短縮ダイヤル登録」
☞41 ページ「グループダイヤル設定」

1 **原稿をセットします。**
☞18 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **【短縮ダイヤル】ボタンを押します。**
グループダイヤル送信時は 2 回押してください。

4 **宛名を選択します。**

5 **送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。**
☞32 ページ「ファクス設定の変更」

6 **モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。**
ファクス送信が開始されます。
グループダイヤル送信はモノクロのみ送信可能です。

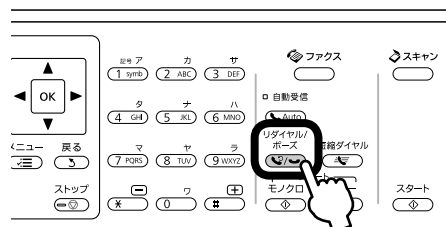
以上で、操作は終了です。

リダイヤル送信

最後に送信した宛先に、もう一度送信できます。最後にグループダイヤル送信したときは、グループの最後にある宛先のみが送信できます。

1 **原稿をセットします。**
☞18 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **【リダイヤル / ポーズ】ボタンを押します。**

4 **送信設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押します。**
☞32 ページ「ファクス設定の変更」

5 **モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。**
ファクス送信が開始されます。

以上で、操作は終了です。

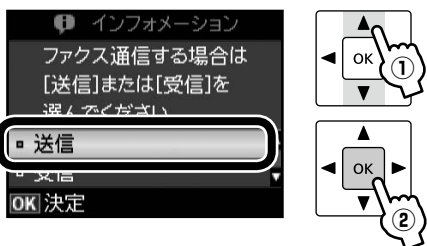
手動送信

外付電話機が接続された状態で有効な送信方法です。ファクスを送信する前に通話したいときや、相手のファクスが自動的に切り替わらないときは、以下の手順で送信します。

1 **原稿をセットします。**

☞18 ページ「原稿のセット」

2 **外付電話機の受話器を上げます。**

3 **［送信］を選択します。**

4 **外付電話機から送信先にダイヤルします。**

5 **ファクス信号（「ピー」音）が聞こえたら、モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押して受話器を置きます。**

以上で、操作は終了です。

時刻指定送信

時刻を指定して送信（モノクロのみ）ができます。指定した時刻に本製品の電源が入っていることが条件です。

参考

- 指定時刻に電源が入っていなかったときは、電源を入れた時点で送信が開始されます。
- 時刻指定送信を設定すると、指定時刻までの間、他のファクス送信はできません。

1 **原稿をセットします。**

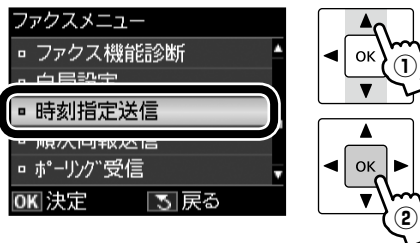
☞18 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

3 **宛先を入力します。**

☞31 ページ「基本ファクス送信」

4 **【メニュー】ボタンを押して、［ファクスメニュー］画面を表示させます。**

5 **［時刻指定送信］を選択します。**

6 **時刻指定をするときは、［する］を選択します。**

7 **テンキー（数字キー）で時刻を入力して、【OK】ボタンを押します。**

時刻設定が［12H］表示のときは、［AM］・［PM］の選択ができます。

8 **【戻る】ボタンを押して、モノクロの【スタート】ボタンを押します。**

画面の指示に従って送信予約を完了します。
【ストップ】ボタンを押すと送信予約が取り消せます。

以上で、操作は終了です。

順次同報送信

複数の宛先（最大 30 電話番号）に一括して送信（モノクロのみ）できます。

1 **原稿をセットします。**

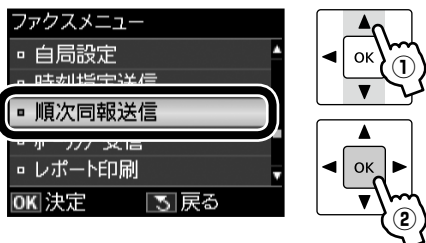
18 ページ「原稿のセット」

2 **【ファクス】ボタンを押します。**

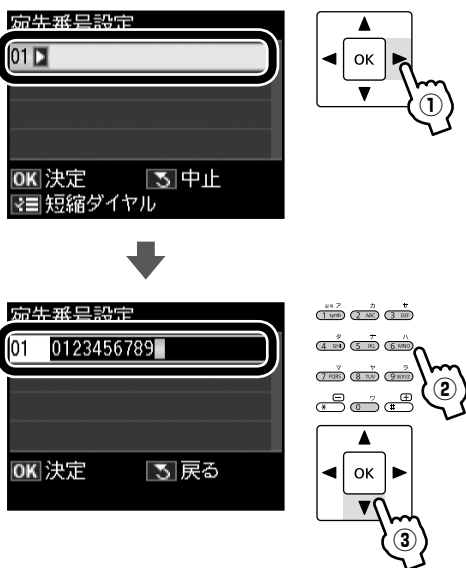
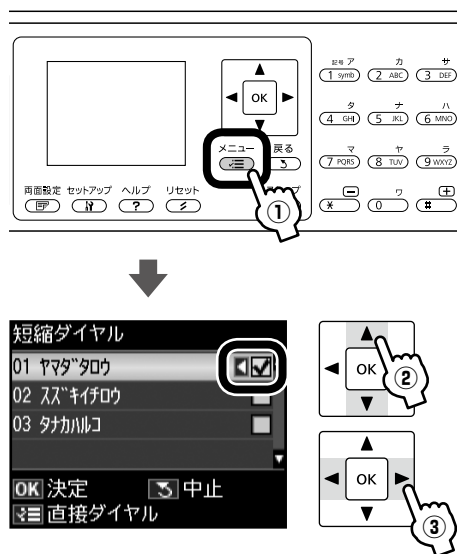
3 **送信設定を変更します。**

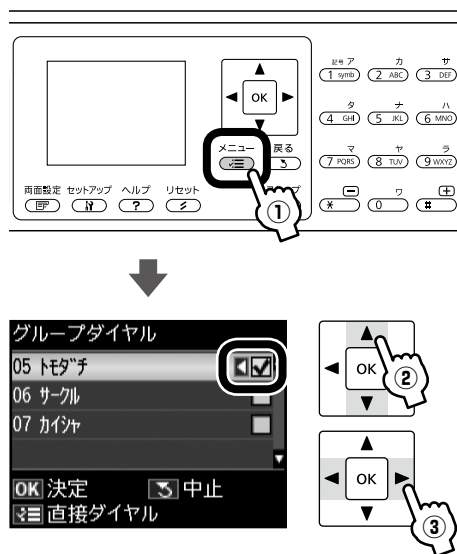
32 ページ「ファクス設定の変更」

4 **【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー]画面を表示させます。**

5 **[順次同報送信] を選択します。**

6 **宛先番号を設定します。**

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイヤル」の項目を組み合わせた設定もできます。
各設定画面への切り替えは、【メニュー】ボタンで行います。

<直接ダイヤル>
複数の宛先を入力するときは、以下の①～③を繰り返します。

<短縮ダイヤル>
【メニュー】ボタンを 1 回押します。

[✔]を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度押してください。

<グループダイヤル>
【メニュー】ボタンを 2 回押します。

[✔]を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度押してください。

参考

「直接ダイヤル」・「短縮ダイヤル」・「グループダイヤル」を組み合わせて設定するときは、それぞれの操作を続けて行い、宛先をすべて設定してから手順 7 に進みます。
例えば、「短縮ダイヤル」と「グループダイヤル」を組み合わせて設定する際の手順は以下です。
① 上記<短縮ダイヤル>の操作で宛先を選択する。
②【OK】ボタンを押さずに【メニュー】ボタンを押す。
③ <グループダイヤル>の操作で宛先を選択する。
④ 手順 7 に進む。

7 **宛先をすべて設定したら、【OK】ボタンを押します。**

8 **モノクロの【スタート】ボタンを押します。**
ファクス送信が開始されます。

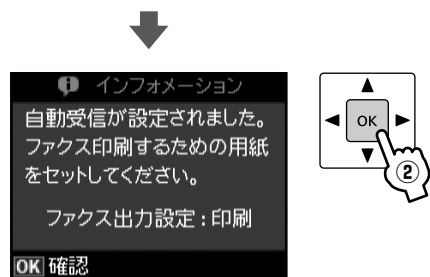
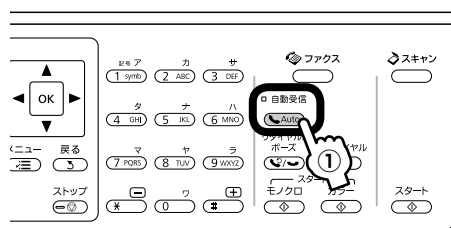
以上で、操作は終了です。

いろいろなファクス受信機能

ファクスを受信する方法は以下の 3 通りと、パソコンで受信する方法があります。詳細は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「ファクス」－「ファクス受信の基本」をご覧ください。
ファクスの受信に備えて、常に普通紙をセットしておくことをお勧めします。また、PX-1700F はファクス印刷に使用する用紙カセットを設定できます。
☞53 ページ「給紙装置の設定（PX-1700F のみ）」

自動受信

コピーやパソコン印刷よりもファクス使用が多いときは、自動受信をお勧めします。
本製品に外付電話機が接続されていないときは、必ず自動受信モードに設定してください。自動受信モードに設定しないと、ファクスを受信できません。

【自動受信】ボタンを押して、自動受信モードにします。

自動受信ランプが点灯します。
この後、ファクス信号を検出すると、設定されている回数の呼び出し音が鳴りファクスが受信されます。受信終了後、ファクスデータが印刷されます。

!重要

本製品に留守番電話機を接続して留守番電話機能を有効にしているとき、本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品がファクス受信の応答を始めてしまうため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。
呼び出し回数の設定方法は、以下のページをご覧ください。
☞27 ページ「呼び出し回数」

参考

- 留守番電話の応答中にファクス信号を検出したときは、自動的にファクス受信に切り替わります。
- 外付電話機が未接続で、操作パネルの［音の設定］がオフになっていると、着信音は鳴りません。
☞51 ページ「プリンターの基本設定」
- 着信中に外付電話機の受話器を上げてファクス信号（「ポー」音）が聞こえたときは、受話器を置かずにそのままお待ちください。自動的にファクス受信に切り替わります。ファクス信号が聞こえなくなり「接続中です。」という画面が表示されたら、受話器を置いてください。
- プリンターのエラー時（インクカートリッジの交換が必要なときや用紙が詰まって印刷できないとき）に受信したデータは、メモリーに記録されます。エラーを解除するとデータの印刷ができます。
☞42 ページ「レポート印刷」

以上で、操作は終了です。

手動受信

ファクスよりもコピー・パソコン印刷・電話などの使用が多いときは、一旦電話に出て相手がファクスかどうかを確認してから受信する手動受信をお勧めします。
手動受信には外付電話機が必要です。

留守番電話応対中はファクス信号を検出できません。不在時のファクス受信は、必ず自動受信モードに切り替えてください。

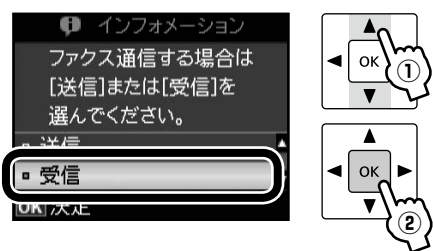
切り替え方法

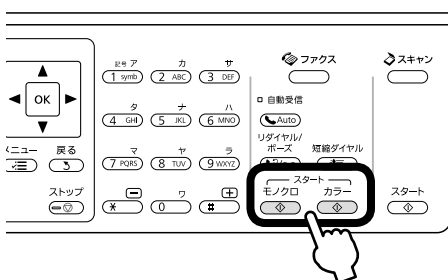
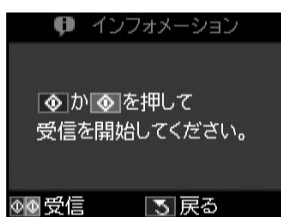
自動受信ランプが点灯しているときは、【自動受信】ボタンを押して、自動受信モードを解除してください。

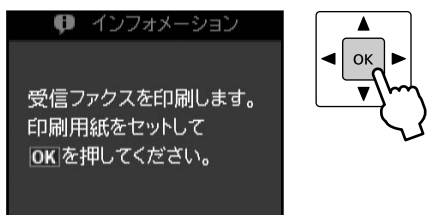
受信方法

1 **外付電話機の呼び出し音が鳴ったら、受話器を上げます。**

通常の電話の場合はこのまま通話してください。

2 ファクス信号（「ポー」音）が聞こえたら、[受信] を選択します。

3 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押して、外付電話機の受話器を置きます。

ファクス受信が開始されます。

4 以下の画面が表示されたら、【OK】ボタンを押します。

ファクスデータが印刷されます。

参考

外付電話機の子機でファクス信号を受信したときは、通話を切らずに手順 2 以降に従ってファクスを受信してください。

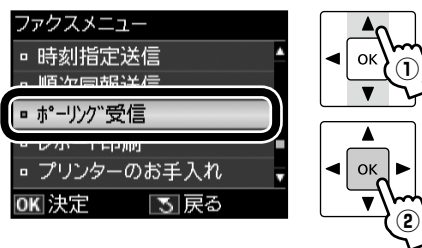
以上で、操作は終了です。

ポーリング受信

相手側のファクスに蓄積された原稿が受信できます。ファクス情報サービスなどから情報を受けるときに使用します。

1 【ファクス】ボタンを押します。

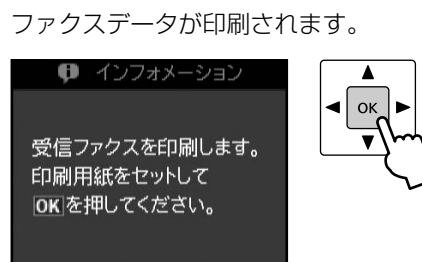
2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。

3 [ポーリング受信] を選択します。

4 ファクス番号を入力します。

5 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

ファクス受信が開始されます。

6 以下の画面が表示されたら、【OK】ボタンを押します。

ファクスデータが印刷されます。

参考

- 自動受信モードでは手順 6 の画面は表示されず、自動的にファクス印刷が開始されます。
- ポーリング受信は、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。音声ガイダンスのファクス情報サービスを利用するには、外付電話機を接続して、手動受信の手順 2 以降に従って操作してください。
☞38 ページ「手動受信」

以上で、操作は終了です。

ファクスモード

その他のファクス機能

短縮ダイヤル登録

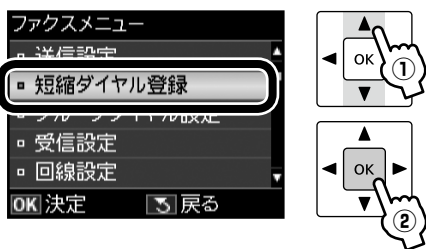
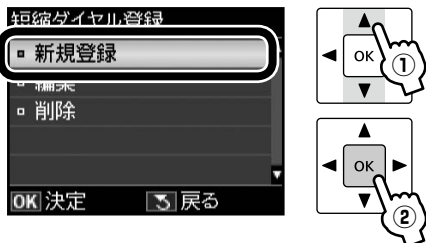
参考

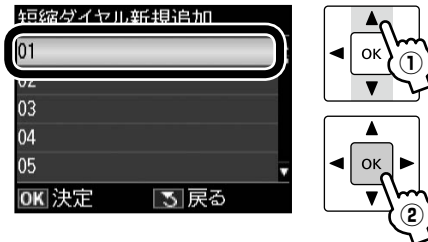
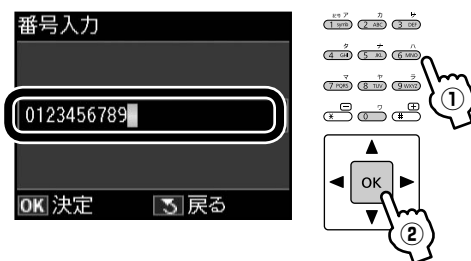
- 短縮ダイヤルでの送信方法は、以下のページをご覧ください。
  ☞34 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」
- 登録できるダイヤルは、短縮ダイヤル・グループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）です。
- 不意の故障などに備え、電話帳のデータはこまめにバックアップすることをお勧めします。また、パソコンからも電話番号の登録ができます。
  詳細は Fax Utility のヘルプをご覧ください。

1 【ファクス】ボタンを押します。

ここで【短縮ダイヤル】ボタンを押すと、手順 3 に進みます。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。

3 [短縮ダイヤル登録] を選択します。

4 [新規登録] を選択します。

[編集]・[削除] を選択すると、登録済みの短縮ダイヤルの編集と削除ができます。

5 登録する番号を選択します。

6 宛先番号を入力します。

7 宛先を入力します。

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。
☞29 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」
30 文字まで入力できます。入力できる文字種の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞29 ページ「入力できる文字」

8 入力が終了したら、画面の［確定］を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

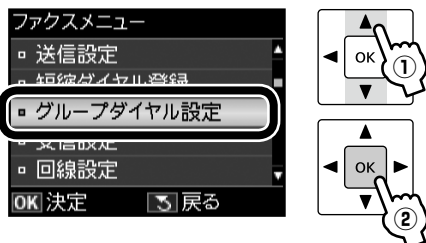
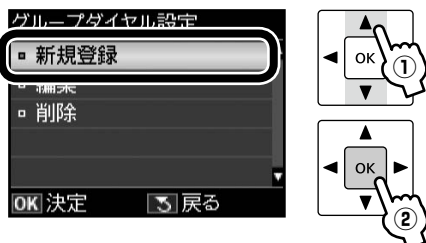
以上で、操作は終了です。

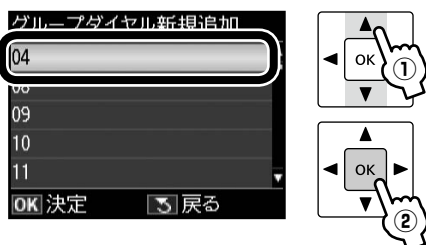
グループダイヤル設定

- グループダイヤルの送信方法は、以下のページをご覧ください。
  ☞34 ページ「短縮ダイヤル・グループダイヤル送信」
- 登録できるダイヤルは、短縮ダイヤル・グループダイヤル合わせて 60 件（合計 60 電話番号）です。

1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー] 画面を表示させます。

3 [グループダイヤル設定] を選択します。

4 [新規登録] を選択します。

[編集]・[削除] を選択すると、設定済みのグループダイヤルの編集と削除ができます。

5 登録する番号を選択します。

6 グループダイヤル名を入力します。

ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。
☞29 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」
名前は 30 文字まで入力できます。入力できる文字種の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞29 ページ「入力できる文字」

7 入力が終了したら、画面の [確定] を選択して、操作パネルの【OK】ボタンを押します。

8 グループにする短縮ダイヤルを選択します。

[✓] を外すときは、【◀】か【▶】ボタンをもう一度押してください。

9 宛先をすべて設定したら、【OK】ボタンを押します。

以上で、操作は終了です。

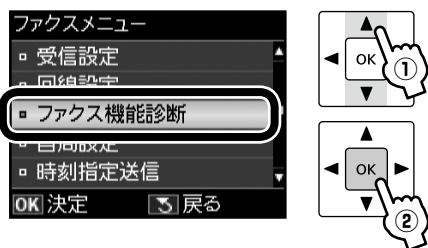
ファクスモード

ファクス機能診断

電話回線との接続状態などがチェックできます。
チェック結果は A4 サイズの普通紙に印刷されます。

1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー]画面を表示させます。

3 [ファクス機能診断] を選択します。

4 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

ファクス機能診断レポートが印刷されます。

診断結果に問題があったら、ファクス機能診断レポートに記載されている対処方法をお試しください。

以上で、操作は終了です。

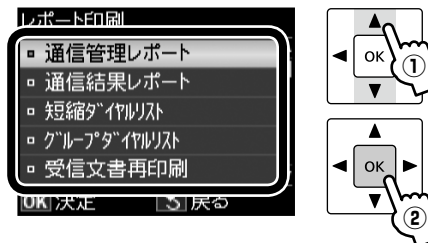
レポート印刷

ファクス送受信のレポートや短縮（グループ）ダイヤルリストが印刷できます。また、一度印刷したファクスデータの再印刷ができます。
蓄積された受信ファクスデータが本製品のメモリーをオーバーすると、古い順から削除されます。
削除されたファクスデータは再印刷できません。

1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、[ファクスメニュー]画面を表示させます。

3 [レポート印刷] を選択します。

4 印刷する項目を選択します。

項目	内容
通信管理レポート	[印刷する]・[表示する] 送受信結果の一覧を印刷・表示します。
通信結果レポート	最後にファクス送信またはポーリング受信した通信結果を印刷します。
短縮ダイヤルリスト	短縮ダイヤルの一覧を印刷します。
グループダイヤルリスト	グループダイヤルの一覧を印刷します。
受信文書再印刷	今までに受信したすべてのファクスのうち、本製品のメモリーに蓄積されているファクスデータを日付の新しい順から印刷します。
プロトコルログ	最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

5 モノクロまたはカラーの【スタート】ボタンを押します。

印刷が開始されます。

以上で、操作は終了です。

写真の印刷（メモリーカードから印刷）

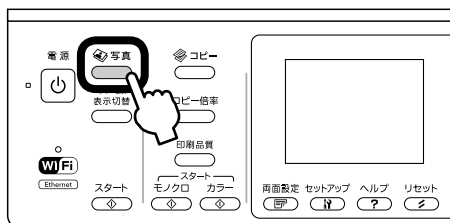
写真の印刷をする前に、以下の作業が終了していることを確認してください。

- 操作パネルの角度調整 ☞12 ページ
- 排紙トレイの引き出し ☞17 ページ
- 印刷用紙のセット ☞16 ページ
- 給紙装置の用紙サイズ設定（PX-1700F のみ）☞53 ページ

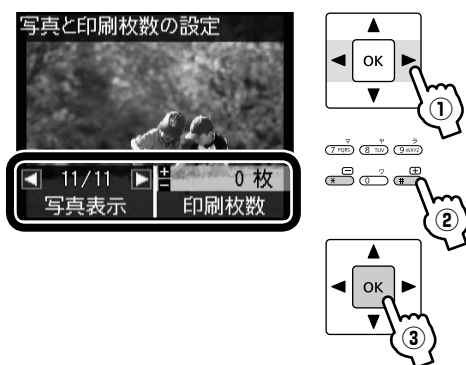
写真を見ながら選んで印刷

メモリーカード内の写真を選んで印刷します。

1 **メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。**

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2 **［写真を見ながら選んで印刷］を選択します。**

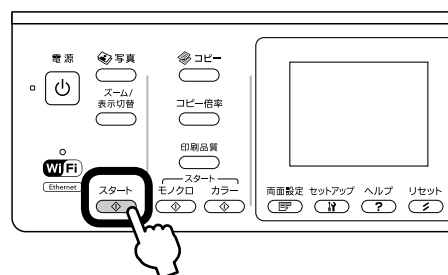
3 **印刷する写真を表示し、印刷枚数の設定をして【OK】ボタンを押します。**

複数の写真を選ぶときは、①と②を繰り返します。
印刷枚数は、テンキー（数字キー）でも設定できます。

- 写真の選択画面で【ズーム / 表示切替】ボタンを押すと、以下の順で表示を切り替えます。
  1 面表示（枚数設定表示あり）→ズーム枠表示→ 1 面表示（枚数設定表示なし）→ 9 面表示
- 写真の選択画面で【メニュー】ボタンを押すと、写真の選択方法が変更できます。
  ［すべての写真を選択］：すべての写真を一括で枚数設定
  ［写真の日付で選択］：撮影日で写真を選択
  ［写真選択の解除］：すべての写真の設定枚数を 0 枚に戻す
- 本製品で認識されない画像ファイルは［?］マークで表示されます。
  ☞71 ページ「対応画像ファイル」

4 **写真の印刷設定を確認して、必要に応じて変更します。**

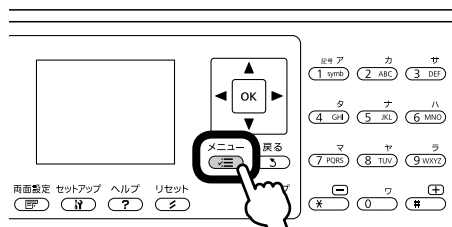
☞44 ページ「印刷設定の変更」

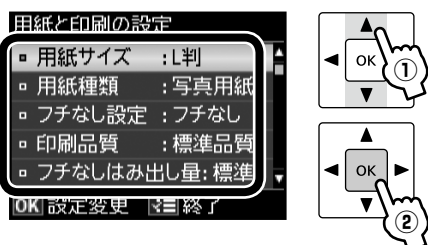
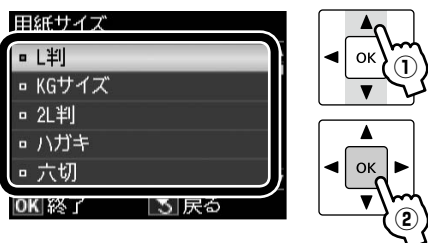
5 **【スタート】ボタンを押します。**

印刷が開始されます。

以上で、操作は終了です。

印刷設定の変更

43ページ「写真を見ながら選んで印刷」の手順 4 では、右記の設定が変更できます。なお、組み合わせによっては表示されない項目があります。

1 【メニュー】ボタンを押して、[写真の印刷メニュー]画面を表示させます。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー(右記)を選択して、【OK】ボタンで決定します。

3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで設定値を表示させます。

4 【▲】か【▼】ボタンで設定値を選択して、【OK】ボタンで決定・終了します。

用紙と印刷の設定

用紙サイズ

使用する印刷用紙のサイズを選択します。

[L判]・[KGサイズ]・[2L判]・[ハガキ]・[六切]・[ハイビジョンサイズ]・[A4]・[四切]・[A3]

用紙種類

使用する印刷用紙の種類を選択します。

☞15ページ「[用紙種類]の設定」

フチなし設定

余白（フチ）を設定します。

[フチなし]・[フチあり]

印刷品質

印刷品質を選択します。

[標準品質]・[きれい]

[きれい]では、印刷速度より品質を優先します。

フチなしはみ出し量

フチなし印刷時のはみ出し量を選択します。

[標準]・[少ない]・[より少ない]

☞25ページ「フチなしはみ出し量」

日付表示

撮影日を入れて印刷するときの表示方法を選択します。

[しない]・[年.月.日]・[月.日.年]・[日.月.年]

- 一部のレイアウトや、撮影日情報のないデータでは日付が印刷されません。
- 20面では自動的に日付が印刷されます。
- データを保存し直すと、保存した日付で印刷されることがあります。

トリミング

トリミングの設定をします。

[する]

上下（または左右）が切り取られる

[しない]

左右（または上下）に余白ができる

- パノラマ写真では設定が無効になることがあります。
- ［フチなし］・［上半分］・［下半分］のレイアウトでは、常にトリミングして印刷されます。

双方向印刷

双方向印刷の設定をします。

[する]・[しない]

［しない］を選択すると印刷速度は遅くなりますが、印刷品質が向上します。通常は［する］に設定してください。

現在の設定を登録

変更した設定を既定値として登録します。

[はい]・[いいえ]

写真の色補正

自動画質補正

写真画質の補正方法を選択します。

[オートフォトファイン !EX]

エプソン独自の画像解析・処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。

[P.I.M.]

PRINT Image Matching（プリントイメージマッチング）機能搭載のデジタルカメラで撮影したときに、写真データに付加されるプリント指示情報を基に補正して印刷します。

[自動補正なし]

補正せずに印刷します。

補正モード

［自動画質補正］で［オートフォトファイン !EX］を選択したときは、補正モードを選択します。

[標準（自動）]・[人物]・[風景]・[夜景]

赤目補正

赤く撮影された目の色の補正方法を選択します。ただし、画像によっては赤目が補正されず、赤目以外の部分が補正されてしまうことがあります。

[しない]・[する]・[しない(全写真)]・[する(全写真)]

フィルター

写真に加える特殊効果を選択します。

[なし]・[セピア]・[モノクロ]

明るさ調整

明るさを調整します。

[より明るく]・[明るく]・[標準]・[暗く]・[より暗く]

コントラスト

明るい部分と暗い部分の差を調整します。

[標準]・[強く]・[より強く]

シャープネス

画像の輪郭を調整します。

[シャープネス強]・[シャープネス弱]・[標準]・[ソフトフォーカス弱]・[ソフトフォーカス強]

鮮やかさ調整

鮮やかさを調整します。

[より鮮やか]・[鮮やか]・[標準]・[くすんだ]・[よりくすんだ]

現在の設定を登録

変更した設定を既定値として登録します。

[はい]・[いいえ]

すべての写真を印刷

メモリーカード内のすべての写真が印刷できます。

1 **メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。**

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2 **［すべての写真を印刷］を選択します。**

この後は、画面の説明に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

いろいろなレイアウトの印刷

いろいろなレイアウトで写真を印刷できます。

2面　4面　8面　20面＊1

上半分＊2　下半分＊2　楕円 -1 面　楕円 - 上半分

証明写真

A4 額縁サイズ

＊ 1： 各写真の下にコマ番号や日付が印刷されます。
＊ 2： ハガキ（年賀状）印刷時に使うと便利です。

1 **メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。**

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2 **［いろいろなレイアウトの印刷］を選択します。**

この後は、画面の説明に従って操作してください。

参考

2 面・4 面・8 面レイアウトでは、写真の配置が指定できます。

① 【◀】か【▶】ボタンで配置する写真を表示
② ［写真を配置］を選択
③ 【OK】ボタンで決定

また、［空白を配置］を選択して【OK】ボタンを押すと、写真の代わりに空白を挿入できます。

以上で、操作は終了です。

すべての写真をインデックス印刷

メモリーカード内の写真の一覧表が印刷できます。

1 **メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。**

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2 **［すべての写真をインデックス印刷］を選択します。**

この後は、画面の説明に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

スライドショーを見ながら印刷

メモリーカード内の写真をスライドショーで確認しながら、選択して印刷できます。

1 **メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。**

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

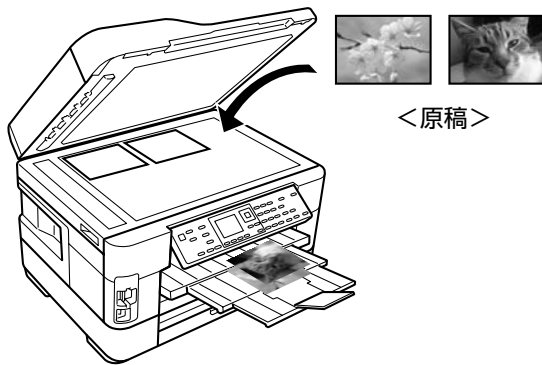
2 **［スライドショーを見ながら印刷］を選択します。**

【▲】か【▼】ボタンでスライドショーを停止･再生します。【OK】ボタンを押すと写真が選択できます。

以上で、操作は終了です。

写真コピー

写真をスキャンして、焼き増し・引き伸ばしができます。また、L 判写真などの複数枚同時コピーもできます。

＜原稿＞

参考

- コピーできる原稿の最小サイズは 30 × 40mm です。
- 余白（フチ）のある写真や周囲に白い部分のある写真は認識されないことがあります。
- 写真をズームアップしたコピーもできます。
☞13 ページ「写真のズーム設定画面」

1 原稿をセットして、【写真】ボタンを押します。

☞18 ページ「原稿のセット」

2 ［写真コピー］を選択します。

この後は、画面の説明に従って操作してください。

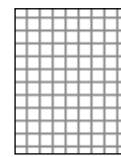
参考

【コピー】ボタンを押してから【メニュー】ボタンを押しても、[写真コピー] を選択できます。

以上で、操作は終了です。

ノート罫線印刷

無地の用紙にノートのような罫線を入れて印刷できます。また、背景に写真を入れてオリジナルの便箋も作れます。

罫線

罫線（マス目）

背景写真

1 背景に写真を印刷するときは、メモリーカードをセットします。

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2 【写真】ボタンを押します。

3 ［ノート罫線印刷］を選択します。

4 罫線や背景の種類を選択します。

［A4 - 罫線（大）］･［A4 - 罫線（小）］･［A4 - 罫線（マス目）］・［A4 - 便箋（写真背景・罫線なし）］・［A4 - 便箋（写真背景･罫線あり）］･［A3 - 罫線（マス目）］から選択します。
この後は、画面の説明に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

データ読み込み先選択

外部記憶装置やメモリーカードからのデータ読み込み時に、読み込み先（フォルダーまたはグループ）が選択できます。

参考

- 本製品で外部記憶装置にバックアップした写真データは、フォルダー単位で保存されます。
- メモリーカードや外部記憶装置内の写真が 999 枚を超えると、グループ単位で表示されます。

1 メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2 ［データ読み込み先選択］を選択します。

3 ［フォルダー選択］または［グループ選択］を選択します。

この後は、画面の説明に従って操作してください。

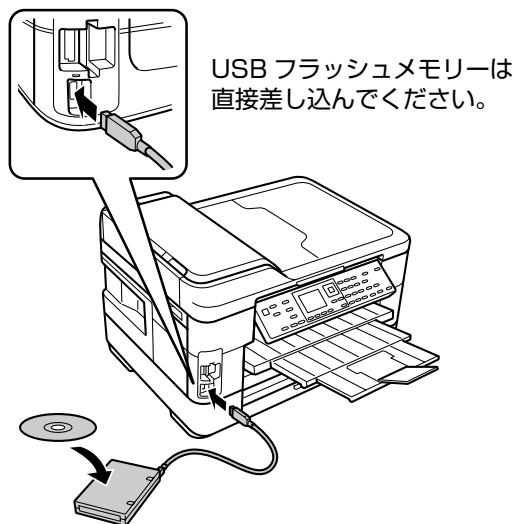
以上で、操作は終了です。

メモリーカードのデータをバックアップ

メモリーカード内のデータを、パソコンを介さずに、外部記憶装置（CD/DVD や USB フラッシュメモリーなど）に保存します。
☞71 ページ「外部記憶装置の最大容量」

1　メモリーカードをセットします。

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2　外部記憶装置を接続します。

3　【写真】ボタンを押します。

4　［メモリーカードのデータをバックアップ］を選択します。

写真データはフォルダー単位で保存されます。
CD/DVD にバックアップするときは、【メニュー】ボタンを押して書き込み速度を設定できます。
この後は、画面の説明に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

ファイル全削除

パソコンを介さずに、メモリーカード内の全ファイルを削除します（個別削除はできません）。

1　メモリーカードをセットして、【写真】ボタンを押します。

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

2　［ファイル全削除］を選択します。

この後は、画面の説明に従って操作してください。

以上で、操作は終了です。

外部記憶装置からの印刷

外部記憶装置のデータを、パソコンを介さずに印刷します。

1　外部記憶装置を接続します。

メモリーカードがセットされているときは、取り出してください。

2　［フォルダー選択］画面が表示されたら、印刷したい写真が含まれているフォルダーを選択します。

この後は、メモリーカードからの写真印刷の操作と同じです。
☞43 ページ「写真の印刷（メモリーカードから印刷）」

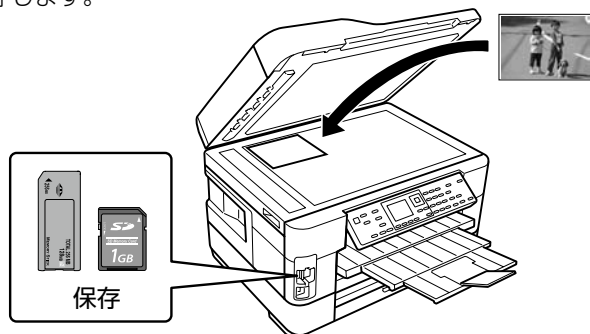
参考

- ［フォルダー選択］画面は、本製品以外で保存したときは表示されません。
- 本製品以外で保存したデータも同じ手順で印刷できますが、一部のデータは正常に印刷できないことがあります。
- ご使用に関する注意事項など、詳しくはエプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/support/ >

以上で、操作は終了です。

スキャン

スキャンしてメモリーカードに保存

写真や雑誌などの印刷物をスキャンしてデータ化し、メモリーカードや HDD、USB フラッシュメモリーなどに保存します。

1 **原稿とメモリーカードをセットして、【スキャン】ボタンを押します。**

2 **［スキャンしてメモリーカードに保存］を選択します。**

メモリーカードの容量が大きいほど、画面が表示されるまでに時間がかかります。

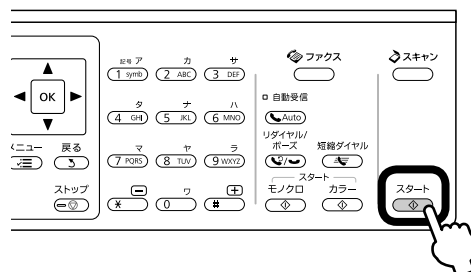
3 **スキャン設定を確認して、必要に応じて変更します。**

組み合わせによっては表示されない項目があります。

設定	内容
保存形式	［JPEG］・［PDF］
カラー	［カラー］・［モノクロ］
原稿の両面設定*1	［片面］・［両面］ *2
スキャン範囲	［A4］・［B4］・［A3］ 選択した用紙サイズでスキャン
	［自動キリトリ］ *3 文字や画像のある部分のみスキャン
	［最大範囲］ *3 原稿台の範囲をすべてスキャン
原稿タイプ	［文字］・［写真］ *3
解像度	［200dpi］・［300dpi］・［600dpi］
濃度	± 4
原稿の向き*1	［縦］・［横］
原稿とじ位置*1	［左］・［上］
現在の設定を登録	［はい］・［いいえ］

＊ 1： PX-1700F のみ対応。
＊ 2： ［両面］を選択したら原稿は ADF にセットしてください。
＊ 3： 原稿を ADF にセットしたときは、選択してもスキャンできません。

4 **【スタート】ボタンを押します。**

スキャンが開始されます。

参考

スキャン後のファイルの大きさは、原稿サイズやスキャン設定によって異なります。［A3］・［写真］・［600dpi］でスキャンすると、有効画像サイズを超えるため、写真選択画面では［？］マークで表示されます。

以上で、操作は終了です。

スキャンしてパソコンへ

書類や雑誌などの印刷物をスキャンしてデータ化し、パソコンに保存します。スキャンメニューの［スキャンしてパソコンへ（PDF)］・［スキャンしてパソコンへ（E メール)］も同様の手順で行えます。

参考

この機能を使うには、本製品とパソコンを接続して、付属のソフトウェアをインストールする必要があります。詳細は『準備ガイド』をご覧ください。

1 **原稿をセットし、【スキャン】ボタンを押して、スキャンメニューを選択します。**

両面原稿（PX-1700F のみ対応）は ADF にセットしてください。

2 **パソコンを選択します。**

両面原稿のスキャン（PX-1700F のみ対応）や、スキャン範囲の変更をするときは、【メニュー】ボタンを押して［スキャン設定］で設定してください。

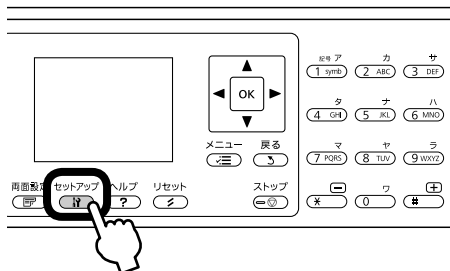
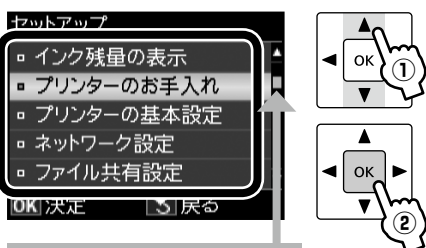
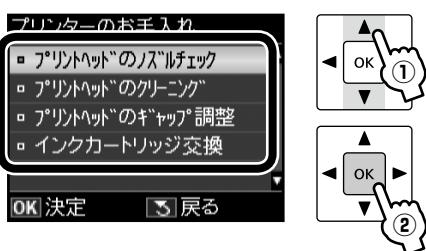
3 **【スタート】ボタンを押します。**

スキャンが開始されます。
この後は、パソコンの画面で操作します。詳細は『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「スキャン」－「プリンター操作パネルのスキャン機能」をご覧ください。

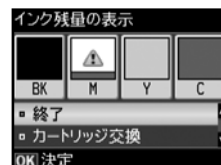
以上で、操作は終了です。

セットアップ

セットアップモードでは、プリンターの動作や操作パネルの表示・ネットワーク設定など各種設定を変更できます。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 【▲】か【▼】ボタンで設定メニュー(右記)を選択して、【OK】ボタンで決定します。

3 【▲】か【▼】ボタンで項目を選択して、【OK】ボタンで決定します。

手順 2 で選択したメニューによって、操作が異なります。
画面の説明に従って操作してください。

インク残量の表示

インク残量（表示は目安）を確認します。
インクが少なくなると「！」マークが表示されます。しばらくは印刷できますが、早めに新しいインクカートリッジを用意することをお勧めします。

インク残量が限界値以下になったインクカートリッジには、「×」マークが表示されます。

プリンターのお手入れ

プリントヘッドのノズルチェック

☞57 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

プリントヘッドのクリーニング

☞57 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

プリントヘッドのギャップ調整

プリントヘッドのギャップ調整をします。
印刷結果がぼやけているときや、文字や罫線がガタガタになるときなどにお試しください。

- 用紙カセット 1 に A4 サイズの普通紙をセットしてください。
- ギャップ調整パターンの印刷時には、すべての【スタート】ボタンが有効です。
- 改善されないときはパソコンに接続して、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。
  ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「印刷のずれ（ギャップ）調整」

インクカートリッジ交換

☞55 ページ「インクカートリッジの交換」

プリンターの基本設定

給紙装置の用紙サイズ設定（PX-1700F のみ）

給紙する用紙カセットごとに用紙サイズを選択します。

[用紙カセット 1]：A4・A3・B5・B4・L 判・2L 判・ハガキ・KG サイズ・六切・ハイビジョンサイズ・四切・A3 ノビ・その他のサイズ
[用紙カセット 2]：A4・A3・B5・B4・A3 ノビ・Letter・Legal

☞53 ページ「給紙装置の用紙サイズ設定」

音の設定

パネルの操作音やファクスの着信音を設定します。

[オン]・[オフ]

スクリーンセーバー設定

スクリーンセーバーを設定します。

[なし]・[メモリーカード内の写真]

［メモリーカード内の写真］に設定したときは、本製品を約 3 分操作しないと画面に写真が順次表示されます。

写真表示画面設定

メモリーカード内の写真の表示方法を選択します。

[1 面・情報表示あり]・[1 面・情報表示なし]・[9 面表示]

日付 / 時刻設定

日時や時刻を設定します。

[年 . 月 . 日]・[月 . 日 . 年]・[日 . 月 . 年]
[12h]・[24h]

☞『準備ガイド』－「日時の設定」

言語選択 /Language

操作パネルに表示される言語を選択します。

[日本語]・[English]

用紙サイズのチェック（PX-1700F のみ）

給紙する用紙サイズが設定と合っていないとき、エラーを案内します。

[エラーを案内しない]・[エラーを案内する]

ネットワーク設定

ネットワークに関する設定をします。

- 操作パネルの設定中に電源を切ったり電源プラグを抜いたりしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- メモリーカードアクセス中にネットワーク設定をすると、アクセスが中断されることがあります。
- 設定値の入力はソフトキーで行います。ソフトキーの使い方は、以下のページをご覧ください。
  ☞29 ページ「ソフトキーの使い方と入力できる文字」

無線 LAN 設定

無線 LAN の接続設定をします。

[カンタン自動設定]・[手動設定]・[プッシュボタン自動設定（AOSS/WPS)]・[PIN コード自動設定（WPS)]・[無線 LAN を無効にする]

- 無線 LAN を使用するときは、WEP または WPA などのセキュリティーを設定してください。セキュリティー保護されていないネットワークでは、不特定の第三者の無線傍受などにより、お客様のデータが漏洩するおそれがあります。
- ［無線 LAN を無効にする］を選択すると、有線 LAN で使用できます。

ネットワーク基本設定

ネットワーク接続に必要なプリンター名・TCP/IP の設定をします。

ネットワーク接続診断

ネットワークの接続状態を診断します。
また、診断結果を印刷すると、詳細な情報が確認できます。印刷した診断結果の見方は以下をご覧ください。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「設定 / 印刷で困ったときは」－「ネットワーク接続診断のエラー」

ネットワーク情報確認

ネットワークの設定と接続状態が確認できます。
ステータスシートを印刷すると、詳細な情報が確認できます。

つづく

ファイル共有設定

接続しているパソコンからメモリーカードや外部記憶装置のファイルにアクセスするときのモードを設定します。
優先にした接続形態からの読み書きは可能ですが、他方は読み取りのみになります。

USB 接続優先

USB 接続したパソコンから、メモリーカードや外部記憶装置への読み書きが可能です。

ネットワーク接続優先

ネットワーク接続したパソコンから、メモリーカードや外部記憶装置への読み書きが可能です。

外部機器印刷設定

外部機器（デジタルカメラなど）からの印刷に関する設定をします。

用紙と印刷の設定

- 設定できる項目は、写真の印刷設定とほぼ同様です。
☞44 ページ「印刷設定の変更」
- ［レイアウト］の設定値は、［写真の印刷］の［いろいろなレイアウトの印刷］とほぼ同様です（外部機器印刷設定では［フチなし］・［フチあり］も選択できます）。
☞46 ページ「いろいろなレイアウトの印刷」

写真の色補正

☞45 ページ「写真の色補正」

本体ステータスシートの印刷

ステータスシートを印刷すると、現在のプリンターの状態や設定値が確認できます。

購入時の設定に戻す

ファクス通信設定

ファクスの送信・受信・回線の設定を購入時の状態に戻します。

ファクス登録データのクリア

ファクス短縮ダイヤル・グループダイヤル・自局設定を購入時の状態に戻します。

ネットワーク設定

ネットワーク設定を購入時の設定に戻します。

ネットワークとファクス設定以外

ネットワークとファクス以外の設定を購入時の状態に戻します。

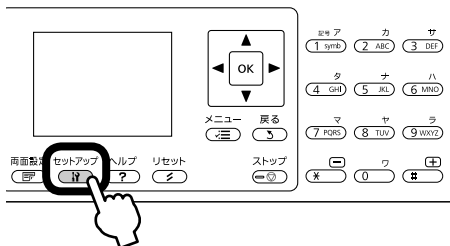
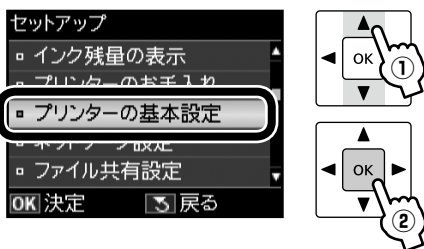
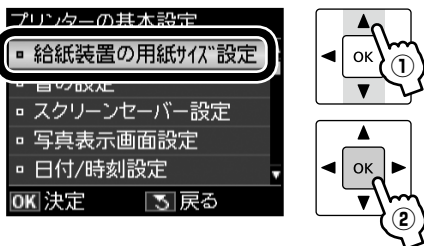
すべての設定

すべての設定を購入時の設定に戻します。

給紙装置の設定（PX-1700F のみ）

給紙装置の用紙サイズ設定

用紙カセット 1・2 に用紙をセットしたら、用紙カセットごとに用紙サイズを設定します。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

2 ［プリンターの基本設定］を選択します。

3 ［給紙装置の用紙サイズ設定］を選択します。

4 設定する用紙カセットを選択します。

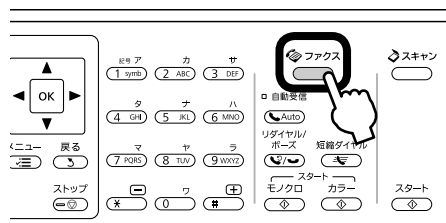
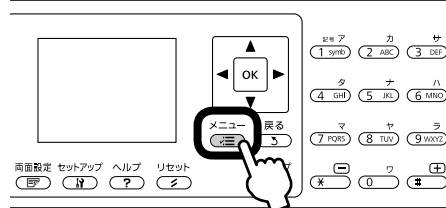
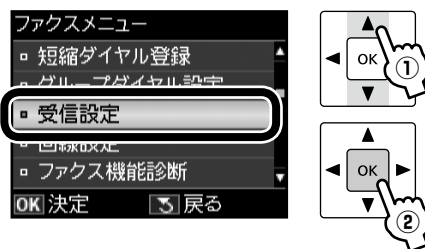
5 用紙カセットにセットした用紙サイズを選択します。

以上で、操作は終了です。

ファクス給紙装置設定

受信したファクスを印刷するときに、使用する用紙カセットを設定します。

どちらかの用紙カセットに A4 サイズ以上の用紙をセットしたときは、モノクロ受信のみです。

1 【ファクス】ボタンを押します。

2 【メニュー】ボタンを押して、［ファクスメニュー］画面を表示させます。

3 ［受信設定］を選択します。

4 ［ファクス給紙装置設定］を選択します。

5 用紙カセットごとに［使用する］または［使用しない］を選択します。

以上で、操作は終了です。

DPOF 印刷・PictBridge 印刷

印刷できるデータは、以下のページをご覧ください。
☞71 ページ「対応画像ファイル」

DPOF 印刷

デジタルカメラで指定した情報（印刷する画像や枚数など）をメモリーカードに記録する「DPOF（Digital Print Order Format）Ver.1.10」の印刷ができます。

DPOF 機能の名称はデジタルカメラによって異なることがあります（「プリント指定」・「プリント予約」など）。

1　デジタルカメラで、DPOF 印刷の指定をします。

以下の印刷タイプで、印刷する写真や枚数などを設定します。詳細はデジタルカメラのマニュアルをご覧ください。

- スタンダードプリント
- インデックスプリント（コマ番号なしの 20 面などのレイアウトでカラー印刷）
- マルチイメージプリント

印刷する写真や枚数以外の印刷設定は、手順 5 で設定します。

2　印刷用紙をセットします。

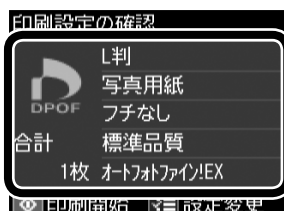
☞16 ページ「印刷用紙のセット」

3　DPOF 情報の入ったメモリーカードをセットします。

☞20ページ「メモリーカードのセットと取り出し」

4　「DPOF のデータがあります。DPOF 印刷しますか？」という画面が表示されたら、［はい］を選択して【OK】ボタンを押します。

5　印刷設定を確認して、【スタート】ボタンを押します。

印刷が開始されます。
設定を変更するときは、【メニュー】ボタンを押してください。
☞44 ページ「印刷設定の変更」

以上で、操作は終了です。

デジタルカメラから USB 接続で印刷

「PictBridge」対応のデジタルカメラから、USB 接続で直接印刷できます。
DPOF 設定した写真を USB 接続で印刷できます。

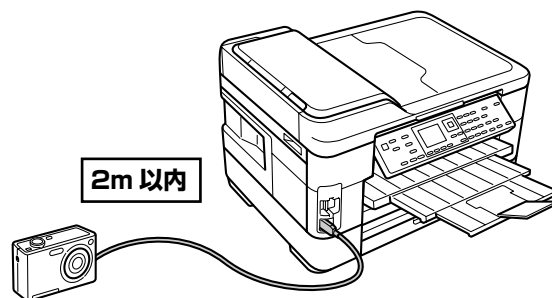
1　印刷用紙をセットします。

☞16 ページ「印刷用紙のセット」

2　【セットアップ】ボタンを押します。

3　［外部機器印刷設定］を選択して、各項目を設定します。

☞48 ページ「外部記憶装置からの印刷」

4　デジタルカメラの電源を入れて、USB ケーブルで接続します。

5　デジタルカメラ側で以下の操作をします。

①印刷する写真を選択します。
②印刷枚数など、必要な設定をします。
③印刷を開始させます。

参考

- デジタルカメラのメニュー名称や操作方法などはデジタルカメラのマニュアルをご覧ください。
- 基本的にはデジタルカメラの設定が優先されますが、「デジタルカメラ側でプリンター優先の設定にしたとき」、「本製品では実現不可能な設定のとき*」、「セピアまたはモノクロの設定」などは本製品の設定が反映されます。

*：実現不可能な設定になっているときは、自動的に実現可能な設定に調整して印刷されます。そのため、この調整結果が本製品側で設定した値と一致するとは限りません。

以上で、操作は終了です。

インクカートリッジの交換

⚠注 意
交換の前に、以下の注意事項をご確認ください。
☞8 ページ「インクカートリッジに関するご注意」

!重 要
操作部分（イラストのグレーで示した部分）以外には手を触れないでください。

参考
- エラーが表示されたら､メッセージに従ってください。
- コピー中の交換作業では、原稿の位置がずれる可能性があります。【ストップ】ボタンを押してコピーを中止後、残りのコピーを原稿のセットからやり直してください。

メッセージ表示前の交換

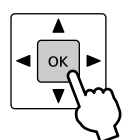
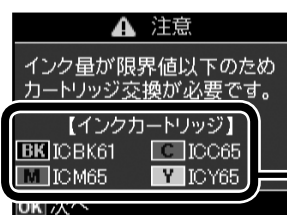
大量印刷の途中でインク交換が発生しないようにしたいなど、インク交換に関するメッセージが表示される前に交換を行うときは、以下の手順に従ってください。

1 【セットアップ】ボタンを押します。

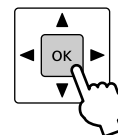
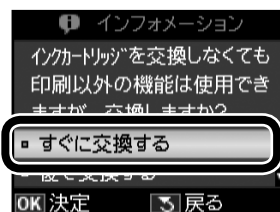
2 ［プリンターのお手入れ］を選択します。

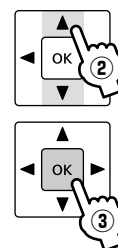
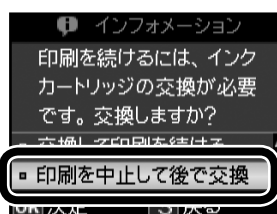
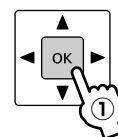
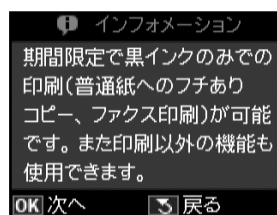
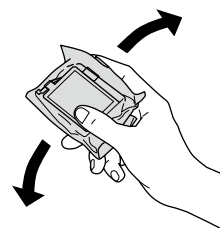
3 ［インクカートリッジ交換］を選択します。
この後は、「メッセージ表示後の交換」の手順 3 以降に従ってください。

メッセージ表示後の交換

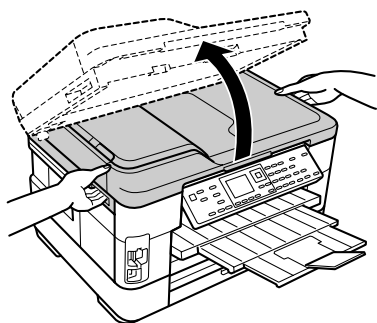
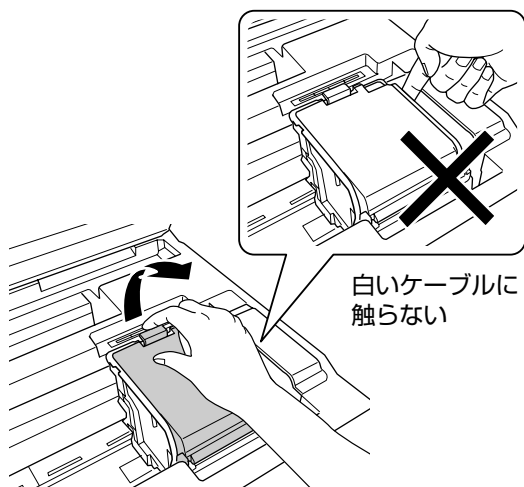
1 交換が必要なインクカートリッジを確認して、【OK】ボタンを押します。

交換が必要なインクカートリッジのみを表示

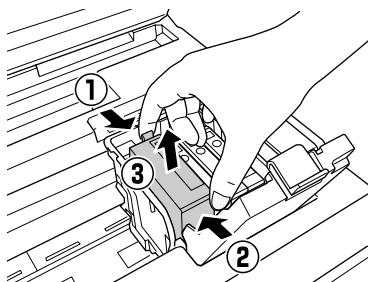
画面にはエプソンの純正インクカートリッジ型番が表示されます。純正品のご使用をお勧めします。
☞ 裏表紙「インクカートリッジのご案内」

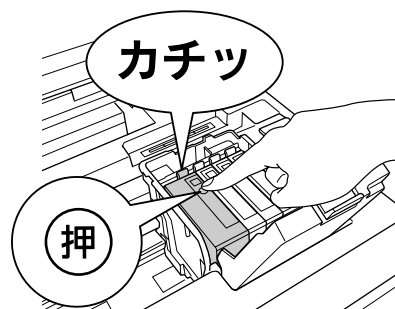
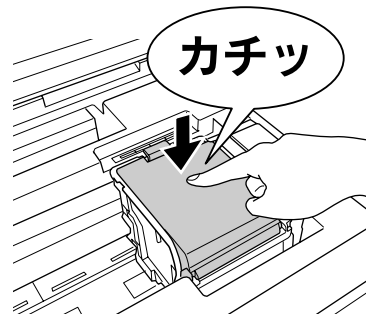
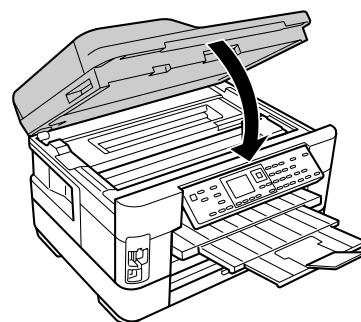
2 ［すぐに交換する］を選択して、【OK】ボタンを押します。

参考
カラーインク残量が限界値を下回ったときは、一時的に、ブラックインクのみ使用して印刷できます（普通紙 フチありコピー、ファクス印刷のみ）。
画面に従い【OK】ボタンを押し、以下の画面が表示されたら［印刷を中止して後で交換］または［後で交換する］を選択して、【スタート】（モノクロのみ）ボタンで印刷してください。

インフォメーション
印刷を続けるには、インク
カートリッジの交換が必要
です。交換しますか?
印刷を中止して後で交換

3 インクカートリッジを 4 〜 5 回振って、袋から出します。

つづく

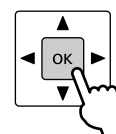
4 新しいインクカートリッジを袋から取り出して、黄色いフィルムのみをはがします。

5 原稿カバーを閉じた状態で、スキャナーユニットを開けます。

6 カートリッジカバーを開けます。

7 交換するインクカートリッジを取り外します。

フックをつまみ、真上に取り出してください。
外れないときは、強く引き抜いてください。

8 新しいインクカートリッジをセットします。

㊞の部分を「カチッ」と音がするまでしっかりと押し込んでください。

9 カートリッジカバーを閉じます。

10 スキャナーユニットを閉じます。

スキャナーユニットを閉じると、自動的にインク充てんが始まります。

手順 11 の画面が表示されるまで（約 3 分）電源を切らないでください。

11 【OK】ボタンを押します。

以上で、操作は終了です。

ノズルチェックとヘッドクリーニング

印刷結果にスジが入ったり、おかしな色味で印刷されたりするときは、ノズル（インクの吐出孔）の状態を確認してください。また写真を印刷する前にも、ノズルチェックすることをお勧めします。

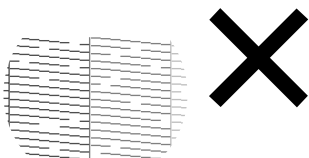
!重要

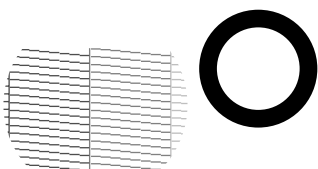
ヘッドクリーニング中は、電源をオフにしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

1 【セットアップ】ボタンを押して、［プリンターのお手入れ］－［プリントヘッドのノズルチェック］の順に選択します。

画面の説明に従ってノズルチェックパターンを印刷してください。

2 ノズルチェックパターンを確認します。

■印刷されないラインがある

ノズルは目詰まりしています。
手順 3 に進んでください。

■すべてのラインが印刷されている

ノズルは目詰まりしていません。
［ノズルチェック終了］を選択して、【OK】ボタンを押してください。

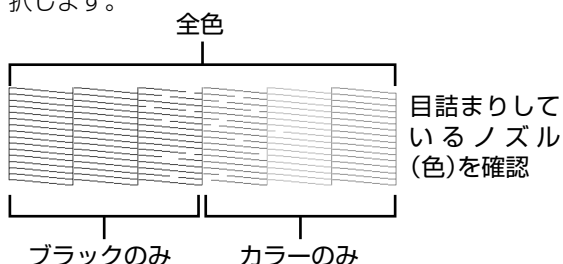
参考

ノズルチェックパターンは明るい場所で確認してください。電球色の蛍光灯などの下で確認すると、ノズルチェックパターンが正しく確認できないことがあります。

3 ［ヘッドクリーニング］を選択します。

画面の説明に従ってヘッドクリーニングを実行してください。

4 クリーニングが必要なノズル（色）を選択して【スタート】ボタンを押します。

ブラックもカラーも目詰まりしているときは［全色］を選択します。カラーのいずれかが目詰まりしているときは［カラーのみ］を、ブラックのいずれかが目詰まりしているときは［ブラックのみ］を選択します。

5 ヘッドクリーニングが終わったら、［ノズルチェック］を選択し、再度ノズルチェックパターンを印刷して確認します（手順 2 に戻ります）。

ノズルチェックパターンのすべてのラインが印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返してください。

参考

- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に４回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源を切って６時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。時間をおくことによって、目詰まりが解消し、正常に印刷できるようになることがあります。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口に修理をご依頼ください。
☞76 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
- ヘッドクリーニングは必要以上に行わないでください。インクを吐出してクリーニングするため、インクが消費されます。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源の入 / 切は必ず【電源】ボタンで行ってください。
- プリントヘッドを常に最適な状態に保つために、定期的に印刷することをお勧めします。
- ノズルチェックパターンの印刷とヘッドクリーニング時には、すべての【スタート】ボタンが有効です。

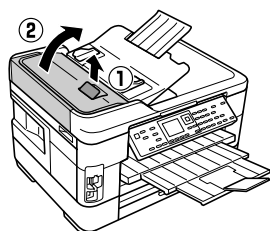
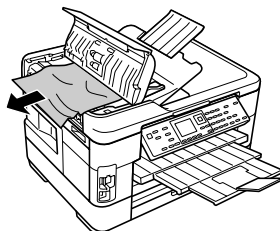
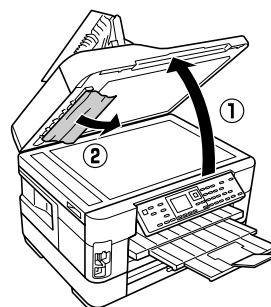
以上で、操作は終了です。

詰まった用紙の取り除き

> ⚠注意
> 製品内部に手を入れて用紙を取り出すときは、操作パネルのボタンには触らないでください。また、突起などでけがをしないように注意してください。

> !重要
> - 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張ると、本製品が故障することがあります。
> - 操作部分（イラストのグレーで示した部分）以外には触らないでください。特に、内部の半透明の部品に触れると動作不良につながるおそれがあります。
> - キャリッジ（インクカートリッジセット部）横の白いケーブルには絶対に触らないでください。

画面の指示に従い、用紙が詰まっている（紙片がちぎれて残っている）箇所を確認して取り除いてください。
電源を切る指示が表示されたら、電源を切ってください。

オートドキュメントフィーダー部

レバーを引きながら
ADF カバーを開ける

用紙を引き抜く

ADF カバーを開けたまま、原稿カバー
を開け、用紙を引き抜く

用紙カセット部

用紙カセットを引き抜く手順は用紙カセット 1・2 とも同様です。

用紙を引き抜く

用紙カセットを両方とも引き抜く

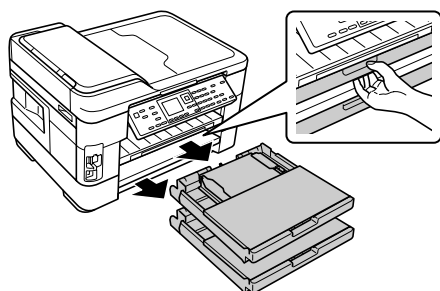
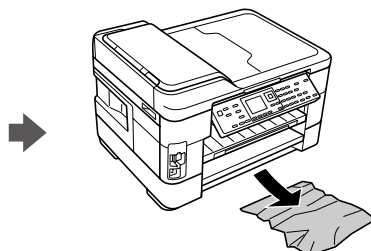
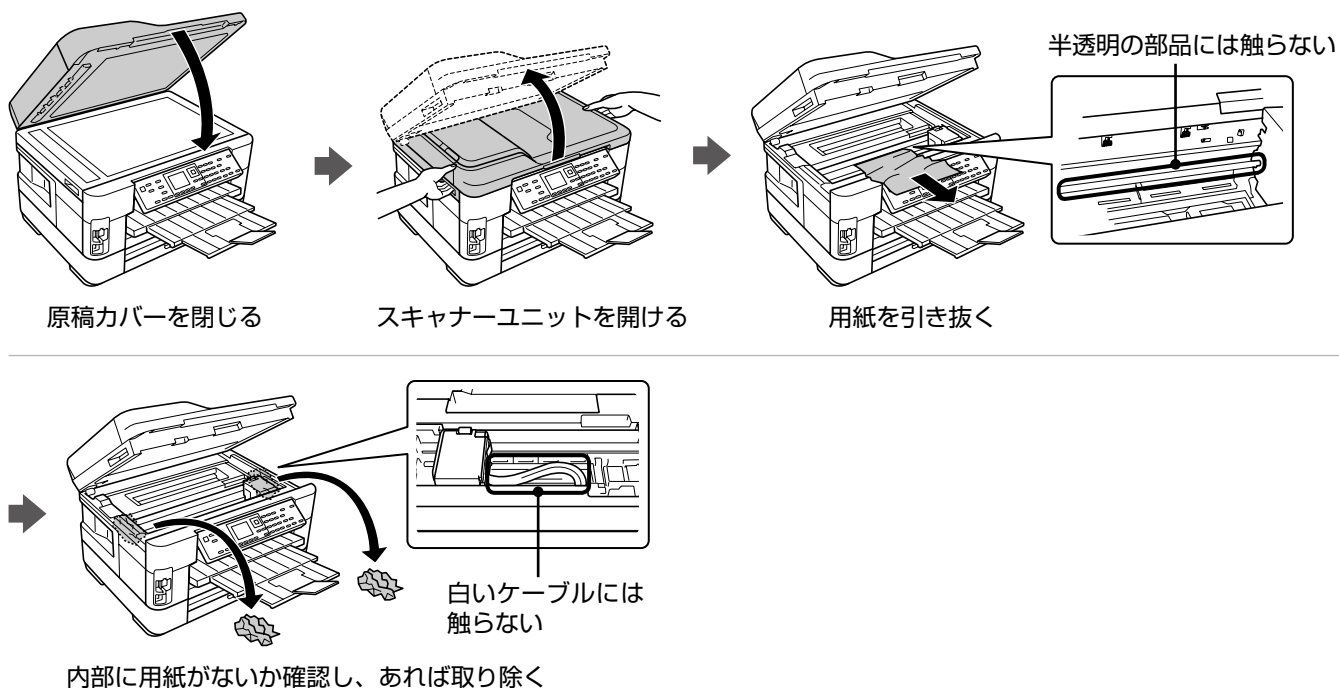
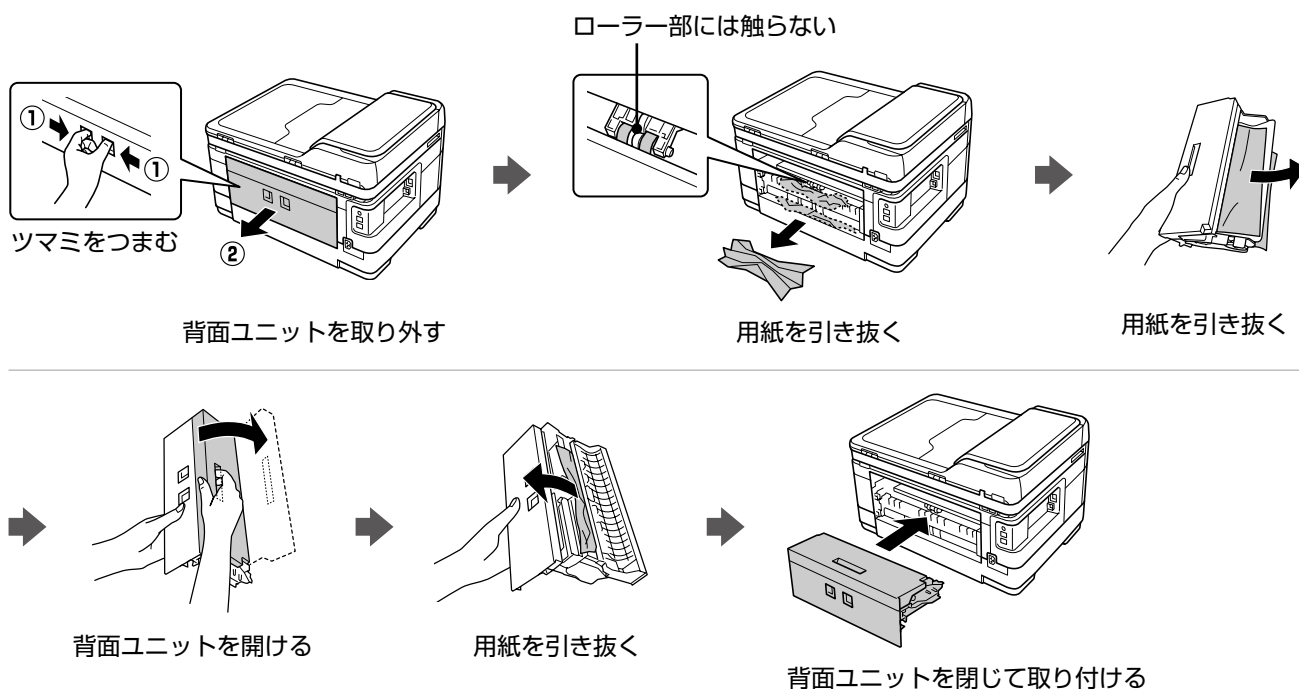
プリンター内部

原稿カバーを閉じる　スキャナーユニットを開ける　用紙を引き抜く

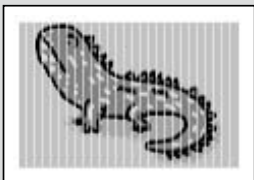
内部に用紙がないか確認し、あれば取り除く

プリンター背面部

背面ユニットを取り外す　用紙を引き抜く　用紙を引き抜く

背面ユニットを開ける　用紙を引き抜く　背面ユニットを閉じて取り付ける

トラブル対処

電源・操作パネル

症状・トラブル状態	対処方法
電源が入らない 電源ランプが点滅・点灯しない	・【電源】ボタンを長めに押してください。 ・電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ・壁などに固定されているコンセントに直接接続してください。
電源が切れない	【電源】ボタンを長めに押してください。それでも電源が切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、プリントヘッドの乾燥を防ぐため、電源を入れ直して【電源】ボタンを押して電源を切ってください。
液晶ディスプレイが暗くなった	液晶ディスプレイがスリープモードになっています。いずれかのボタンを押すと、操作画面が表示されます。

※ 画面に表示されたメッセージの内容がわからないときは、以下のページをご覧ください。
☞67 ページ「メッセージが表示されたら」

給紙・排紙

症状・トラブル状態	対処方法
用紙が詰まった	無理やり引き抜かないでください。以下のページの手順に従って取り除いてください。 ☞58 ページ「詰まった用紙の取り除き」
斜めに給紙される 重なって給紙される 用紙が給紙されない 用紙が排出されてしまう	・PX-1700F をお使いの場合は、用紙カセット 1・2 にセットした用紙サイズと、操作パネルの［給紙装置の用紙サイズ設定］を合わせてください。 ☞53 ページ「給紙装置の用紙サイズ設定」 ・用紙を正しくセットしてください。特に、用紙のセット時には必ずエッジガイドを合わせてください。 ☞16 ページ「印刷用紙のセット」 ・本製品で印刷できる用紙をお使いください。 ☞14 ページ「印刷用紙の種類と設定」 ・水平な場所に設置されているか、使用環境に問題がないかを確認してください。 ☞70 ページ「総合仕様」－「動作時の環境」 ・製品内部のローラーが汚れている可能性があります。A4 または A3 サイズの普通紙を使ってローラーをクリーニングしてください。 ☞62 ページ「用紙が汚れる」－「内部のクリーニング方法」 ・印刷処理が一定の時間中断された可能性があります。印刷処理が一定の時間中断されると、印刷中の用紙が排出されます。
ADF から原稿が給紙されない	ADF 内部が汚れている可能性があります。 ☞69 ページ「オートドキュメントフィーダーの清掃」

印刷品質

症状・トラブル状態	対処方法
かすれる スジや線が入る 色合いがおかしい・色が薄い 印刷されない色がある 印刷にムラがある モザイクがかかったように印刷される インクが出ない（白紙で印刷される）	• ノズルが目詰まりしている可能性があります。プリントヘッドの状態を確認してください。 ☞57 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」 • インクカートリッジは推奨品（エプソン純正品）を使用することをお勧めします。 • 古くなったインクカートリッジは使用しないことをお勧めします。 ☞55 ページ「インクカートリッジの交換」 • プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 ☞50 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 上記の調整をしても改善されないときは、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「印刷のずれ（ギャップ）調整」 • 写真などは、普通紙ではなくエプソン製専用紙に印刷することをお勧めします。 • エプソン製専用紙には表裏があります。印刷した面がおもて面か確認してください。 ☞14 ページ「使用できる用紙」－「印刷できる面」 • 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。 印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。 • セットした用紙の種類と、印刷設定の［用紙種類］を合わせてください。 ☞15 ページ「［用紙種類］の設定」 • 印刷品質の高いモード（［きれい］など）での印刷をお試しください。普通紙で印刷するときに、［印刷品質］を［標準品質］に設定すると、スジが見えることがあります。 • 自動画質補正やコントラストなどを設定し、お好みの色合いに調整してください。 ☞45 ページ「写真の色補正」 • 解像度の高い（画素数の多い）データで印刷してください。携帯電話や解像度の低いカメラで撮影した写真は画質が粗いため、小さい用紙に印刷することをお勧めします。 ※解像度は携帯電話・デジタルカメラの機種によって異なります。
約 2.5cm 間隔でスジが入る 文字や罫線がガタガタになる	• プリントヘッドの位置がずれている可能性があります。ギャップ調整を行ってください。 ☞50 ページ「プリントヘッドのギャップ調整」 上記の調整をしても改善されないときは、プリンタードライバーからのギャップ調整をお試しください。 ☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「メンテナンス」－「印刷のずれ（ギャップ）調整」

<table>
<tr><th>症状・トラブル状態</th><th>対処方法</th></tr>
<tr><td>コピーでムラ・シミ・斑点が出る
裏写りする</td><td>• 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。
• 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。
☞62 ページ「用紙が汚れる」－「内部のクリーニング方法」
• ADF のローラーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。
☞69 ページ「オートドキュメントフィーダーの清掃」
• 原稿カバーや原稿を強く押さえ付けないでください。
• 原稿の紙が薄いときは、原稿台からコピーしてください。また、裏側に黒い紙や下敷きを重ねてコピーしてください。</td></tr>
<tr><td>用紙が汚れる</td><td>• コピー濃度を下げてください。
☞23 ページ「基本コピー」
• 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。
汚れているときは、柔らかい布でふき取ってください。
• 通紙（給排紙）をして、製品内部をクリーニングしてください。
<内部のクリーニング方法>
用紙カセットに A4 または A3 サイズの普通紙（コピー用紙など）をセットして、原稿をセットせずにコピーを実行してください。用紙にインクの汚れが付かなくなるまで、繰り返してください。
コピーの手順は、以下のページをご覧ください。
☞22 ページ「コピーをする」
製品内部は布やティッシュペーパーなどでふかないでください。繊維くずなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。
• 両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
ハガキに印刷するときは、宛名面から先に印刷することをお勧めします。
• 本製品で印刷できる用紙をお使いください。
☞14 ページ「使用できる用紙」
• 用紙は正しい方向にセットしてください。
☞16 ページ「印刷用紙のセット」
• 印刷後の用紙は、十分に乾燥させてからアルバム・クリアファイル・ガラス付き額縁などに入れて保存・展示してください。
印刷後の用紙を乾かすときには、直射日光に当てたり、印刷面を重ねたり、ドライヤーを使ったりしないでください。
• フチなし設定をしたときは、以下の用紙を使用することをお勧めします。
写真用紙・フォト光沢紙・フォトマット紙・各種郵便ハガキ・各種エプソン製専用ハガキ
• 両面コピーをするときは、［両面・乾燥時間］を設定してください。
☞25 ページ「両面・乾燥時間（PX-1700F のみ）」</td></tr>
<tr><td>フチなし印刷ができない</td><td>• フチなしの設定にしてください。
☞24 ページ「レイアウト」
☞44 ページ「フチなし設定」
• フチなし印刷に対応した以下の用紙をお使いください。
写真用紙・フォト光沢紙・フォトマット紙・各種郵便ハガキ・各種エプソン製専用ハガキ</td></tr>
</table>

症状・トラブル状態	対処方法
ハガキに縦長の写真を印刷すると、宛名面と上下が逆になってしまう	ハガキのセット向きを上下逆にしてください。 縦長写真のデータは、撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって、写真の上下（天地）が異なります。
印刷がずれる・はみ出す	• エッジガイドを用紙の側面に合わせてください。 ☞16 ページ「印刷用紙のセット」 • 原稿台や原稿カバーに付いているゴミや汚れを取り除いてください。コピー時はゴミや汚れの範囲までコピーされ、印刷位置が大きくずれることがあります。 • 原稿を正しくセットしてください。 ☞18 ページ「原稿のセット」 • セットした用紙のサイズと､印刷設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞25・44 ページ「用紙サイズ」 • フチなし印刷で写真の周囲が欠けるときは、フチなしはみ出し量を変更してください。 ☞25・44 ページ「フチなしはみ出し量」
画像が縮小される	柔らかい布でガラス面をふいてください。

ファクス

症状・トラブル状態	対処方法
ファクスの送信も受信もできない **外付電話機で通話ができない**	• ［ファクス機能診断］をして、シートに記載されている方法で対処してください。 ☞42 ページ「ファクス機能診断」 • 対応している電話回線に接続してください。 ☞70 ページ「ファクス部基本仕様」－「対応回線」 • 電話回線に正しく接続されているかを確認してください。 ☞『準備ガイド』－「電話回線と接続」 本製品の EXT. ポートに外付電話機を接続して、受話器を上げて「ツー」音が聞こえるか確認してください。 • 外付電話機を接続しているときは、受話器が上がっていないか（話し中になっていないか）確認してください。 •「通信エラー」と表示されたら、回線状況が不安定になっている可能性があります。繰り返しまたは頻繁に発生するときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。 ☞76 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
ファクスを送信できない	• ［ファクス機能診断］をして、シートに記載されている方法で対処してください。 ☞42 ページ「ファクス機能診断」 • ご使用の回線と［回線種別］の設定を合わせてください。 ☞27 ページ「回線種別」 •「ダイヤルトーンがありません。」と表示されたら、ファクス回線設定の［ダイヤルトーン検出］を［しない］に設定してください。 ☞33 ページ「回線設定」 • ADSL 回線では、スプリッターなどの装置を外してモジュラージャックに本製品を直接接続してファクスを送信してみてください。正常に送信できれば、本製品には問題はありません。インターネットサービスプロバイダーや IP 電話プロバイダーへお問い合わせください。 • 自局番号が登録されているか確認してください。送信先の設定によっては、自局番号が登録されていないと受け付けてくれないことがあります。 ☞28 ページ「自局設定」 • 番号非通知設定になっていないか確認してください。送信先の設定によっては、番号非通知設定になっていると受け付けてくれないことがあります。番号通知設定に変更して送信してください。 • 日付と時刻が設定されているか確認してください。 ［日付 / 時刻設定］が正しく設定されていないと、時刻指定送信はできません（設定項目が表示されません）。 ☞51 ページ「日付 / 時刻設定」 •「応答がありません。」と表示されたら、以下を確認してください。 ・宛先ファクス番号が間違っていないか ・送信先のファクス機が受信できる状態になっているか 問題がなければ、しばらく時間をおいてから送信し直してください。

症状・トラブル状態	対処方法
ファクスを受信できない	• ファクスの自動受信をオンにしてください。外付電話機が接続されていないときに自動受信をオフにするとファクスを受信できません。 ☞38 ページ「自動受信」 • ボイスワープなどの電話転送サービスからの転送ファクスは受信できません。電話転送サービスの設定の詳細は、ご利用の電話会社にお問い合わせください。 • 呼び出し回数を多くし過ぎると、送信側のファクス設定によって受信できないことがあります。 ☞27 ページ「呼び出し回数」 • PX-1600F をお使いの場合は、セットした用紙のサイズと、受信設定の［用紙サイズ］を合わせてください。 ☞33 ページ「受信設定」 • PX-1700F をお使いの場合は、受信したファクスの印刷に使用する用紙カセットを［ファクス給紙装置設定］で設定してください。 ☞33 ページ「受信設定」 • 受信設定の［ファクス出力設定］を［印刷］に設定してください。 ☞33 ページ「受信設定」 • システムエラーなど本製品の電源をオフにする必要のあるエラーや、本製品のメモリーがいっぱいになったときは、ファクスを受信できません（このとき本製品では呼び出し音が鳴り続けます）。本製品にエラーが発生しているときは、エラーを解除してください。
ファクスをきれいに送信できない	• 原稿台と ADF に付いているゴミや汚れを取り除いてください。 • 文字と写真が混在した原稿では、［画質］で［きれい］を選択することをお勧めします。 ☞32 ページ「送信設定」 • 送信ファクスの［濃度］を調整してみてください。 ☞32 ページ「送信設定」
ファクスをきれいに受信できない	• 回線設定の［エラー訂正（ECM）］を［する］に設定してください。 ☞33 ページ「回線設定」 • 送信元に、ファクス原稿や読み取り部分に汚れがないか確認してください。また、より画質の高いモードで送信し直すように依頼してみてください。 • 受信したファクスを印刷し直してみてください。 ☞42 ページ「レポート印刷」
本製品が先に応答してしまうため、音声通話ができない	• 留守番電話機を接続しているときは、留守番電話機と本製品の呼び出し回数の設定を確認してください。 本製品が自動受信するまでの呼び出し回数は、留守番電話機の呼び出し回数より多く設定してください。少なく設定すると、先に本製品が応答してファクス受信が始まるため、留守番電話機への録音や通常通話ができません。 ☞27 ページ「呼び出し回数」

その他

症状・トラブル状態	対処方法
ヘッドクリーニングが動作しない	・本製品にエラーが発生しているときは、画面の指示に従ってエラーを解除してください。 ・十分なインク残量がないとヘッドクリーニングができません。新しいインクカートリッジに交換してください。 ☞55 ページ「インクカートリッジの交換」
約 10 分以上連続して印刷をしている途中、印刷速度が遅くなった	・印刷速度が極端に遅くなったときは、印刷を中断し電源の入った状態で 30 分以上放置してください。印刷を再開すると、通常の速度で印刷できるようになります。高温による製品内部の損傷を防ぐための機能が働いているのが原因ですが、印刷速度が遅くなっても印刷は継続できます。また、電源を切って放置しても、印刷速度は回復しません。
製品に触れた際に電気を感じる（漏洩電流）	・アース（接地）を取ることをお勧めします。 ・多数の周辺機器を接続している環境下では、本製品に触れた際に電気を感じることがあります。
日付・時刻がずれている	・日付・時刻を正しく設定してください。 ☞51 ページ「日付 / 時刻設定」
写真選択画面で［?］が表示される	・非対応の画像は［?］で表示されます。 ☞71 ページ「対応画像ファイル」

パソコン接続時

症状・トラブル状態	対処方法
パソコンから印刷できない	・『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷できない」 ・『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「設定 / 印刷で困ったときは」－「設定や印刷に関するトラブル」
印刷品質が悪い 印刷面がこすれる・汚れる 印刷位置がずれる・はみ出す	・『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷品質 / 結果が悪い」
パソコンからスキャンできない	・『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「スキャンのトラブル」－「スキャンできない」
スキャン品質が悪い 意図した範囲・向きでスキャンできない	・『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「スキャンのトラブル」－「スキャン品質 / 結果が悪い」
パソコンからファクス送信できない	・『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「トラブル解決」－「ファクスのトラブル」－「ファクスの送受信ができない」
ネットワーク設定できない	・『ネットワークガイド』（電子マニュアル）をご覧ください。 ☞「設定 / 印刷で困ったときは」－「設定や印刷に関するトラブル」

メッセージが表示されたら

本製品の画面に以下のメッセージが表示されたら、対処方法をご確認ください。

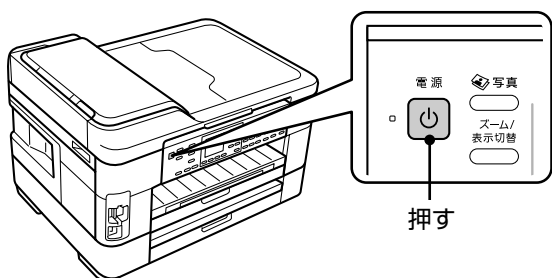
メッセージ	対処方法
プリンターエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。 詳しくは、マニュアルをご覧ください。	電源を入れ直してください。 それでもエラーが解除されないときは、電源を切ってからスキャナーユニットを開け、内部に異物（輸送用の保護テープ・用紙など）が入っていないか確認してください。
バックアップ中にエラーが発生しました。 バックアップを中止します。 エラーコード XXXXXXXX	表示されているエラーコードを控えて、エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。 76 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」
保存中にエラーが発生しました。 保存を中止します。	• 外部記憶装置が故障している（または非対応）か、メディアのフォーマット形式により保存できないことがあります。 使用できる外部記憶装置は以下のページをご覧ください。 71 ページ「外部記憶装置の最大容量」 • FAT32 フォーマットの xD-Picture Card には保存できません。事前にメモリーカードのデータをバックアップしてから、デジタルカメラでフォーマットし直してお使いください。
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されてます。新しいインクカートリッジに交換してください。 55 ページ「インクカートリッジの交換」
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。 以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 ① パソコンとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデート作業は、ネットワーク接続ではできません）。 ② エプソンのホームページから最新版のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。 お早めにエプソンの修理窓口に交換をご依頼ください。 印刷継続	廃インク吸収パッド*1 の吸収量が限界に近付いています。*2 お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口に交換を依頼してください。このメッセージは、交換するまで定期的に表示されます。【スタート】ボタンを押すと印刷を続けられます。
廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。 エプソンの修理窓口に交換をご依頼ください。 電源を切る	廃インク吸収パッド*1 の吸収量が限界に達しました。*2 廃インク吸収パッドの交換が必要です。お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口に交換を依頼してください。

＊ 1：クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを吸収する部品です。
＊ 2：廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達する時期は使用状況によって異なります。吸収量が限界に達すると、パッドを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。保証期間経過後の交換は有償です。

輸送の準備

本製品を輸送するときは、衝撃などから守るために、以下の作業を確実に行ってください。

1 【電源】ボタンを押して、電源を切ります。

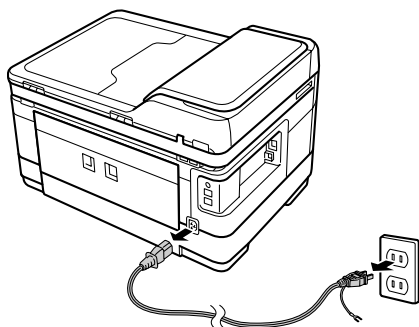
プリントヘッドが右側のホームポジション（待機位置）に移動し、固定されます。
操作パネルの角度を調整しているときは、パネル裏側のレバーをつまんで収納してください。

!重要

- インクカートリッジは取り外さないでください。プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。
- プリントヘッドの動作中に電源プラグをコンセントから抜くと、プリントヘッドがホームポジションに移動せず、固定できません。電源を入れ直し、必ず【電源】ボタンを押して電源を切ってください。

2 用紙カセットから用紙を取り除き、メモリーカードを取り外します。

3 原稿カバーを開けて、原稿がないことを確認します。

4 電源コードを本体から取り外します。

USB ケーブル・LAN ケーブル・モジュラーケーブルが接続されているときは、すべて取り外してください。

5 保護材を取り付け、本製品を水平にして梱包箱に入れます。

!重要

保護材の取り付け時や輸送時は、本製品を傾けたり、立てたり、逆さにしたりせず、水平な状態で取り扱ってください。

以上で、作業は終了です。

参考

輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドをクリーニングしてください。
☞57 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

オートドキュメントフィーダー使用時のご注意

対応原稿サイズ

ADF にセットできる原稿サイズは以下です。

A4・B4・A3

セットできない原稿

次のような原稿はセットしないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

- 折り目やしわのある原稿
- 破れている原稿
- 反っている原稿
- のり・ステープラー・クリップなどが付いた原稿
- 形が不規則な原稿・裁断角度が直角でない原稿
- 写真・シール・ラベルなどを貼った原稿
- ルーズリーフなど多穴の原稿
- とじられている（製本されている）原稿
- 裏カーボンのある原稿
- 薄すぎる原稿・厚すぎる原稿
- 透明・半透明な原稿（OHP シートなど）
- 光沢のある原稿
- 劣化した原稿

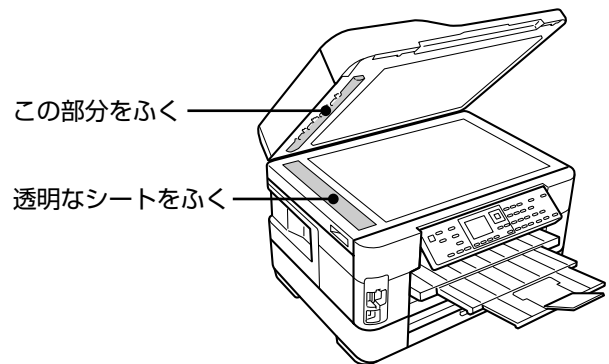
原稿の取り扱い

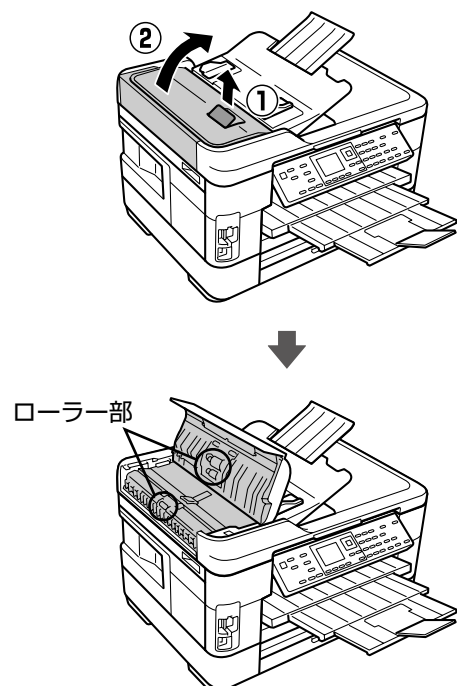
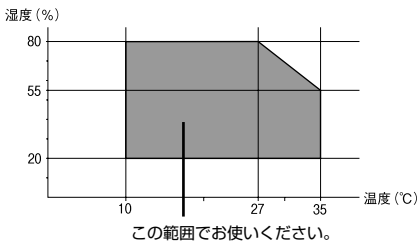
- 同じサイズの原稿に限り、複数枚のセットが可能です。
- 複数枚の原稿をセットするときは、整えてからセットしてください。
- 原稿を継ぎ足してセットしないでください。

オートドキュメントフィーダーの清掃

ADF の汚れは、原稿の給紙不良や、コピー結果の汚れの原因になります。
以下の手順で清掃を行ってください。

裏側

柔らかい布でからぶきします。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸して、よく絞ってから汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。

内部のローラー

片手で ADF を押さえながら、もう片方の手でカバーをゆっくりと開けます。
ローラー部や通紙部分に、紙粉・ちり・ほこりなどが付着していることがありますので、柔らかい布でからぶきしてください。

製品の仕様とご注意

製品仕様

■総合仕様

ノズル配列	黒インク：128 ノズル× 3 列 カラー：128 ノズル× 3 色
インク色	ブラック・マゼンタ・シアン・イエロー
最高解像度	5760＊× 1440dpi
最小ドットサイズ	2pl（ピコリットル）
インターフェイス	Hi-Speed USB × 2（PC 接続用・外部記憶機器接続および PictBridge 用）・10BASE-T・100BASE-TX
定格電圧	AC100 ～ 240V
定格周波数	50 ～ 60Hz
定格電流	1.0 ～ 0.6A
消費電力	• PX-1600F コピー時：約 20W （ISO/IEC 24712 印刷パターンコピー） スリープモード時：約 4.2W 電源オフ時：約 0.4W • PX-1700F コピー時：約 20W （ISO/IEC 24712 印刷パターンコピー） スリープモード時：約 4.4W 電源オフ時：約 0.4W
製品外形寸法 （単位：mm）	• PX-1600F 収納時：幅 559 ×奥行き 418 ×高さ 287 使用時：幅 559 ×奥行き 690 ×高さ 381 • PX-1700F 収納時：幅 559 ×奥行き 418 ×高さ 365 使用時：幅 559 ×奥行き 690 ×高さ 459
製品質量	• PX-1600F：約 15.6kg （インクカートリッジ・電源コードを含まず） • PX-1700F：約 18.9kg （インクカートリッジ・電源コードを含まず）
動作時の環境	温度：10 ～ 35℃ 湿度：20 ～ 80%（非結露） 湿度（%） 80 55 20 温度（℃） 10 27 35 この範囲でお使いください。
保管時の環境	温度：－ 20 ～ 40℃ 湿度：5 ～ 85%（非結露）
省資源機能	両面印刷機能・割り付け印刷機能・縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。

＊：最小 1/5760 インチのドット間隔で印刷。

■スキャナー部基本仕様

走査方式	読み取りヘッド移動による原稿固定読み取り
センサー	CIS
出力解像度	主走査：1200dpi 副走査：2400dpi
最大有効画素数	14040 × 20400 Pixel
最大原稿サイズ	A3
階調	RGB 各色　16bit 入力 1bit・8bit 出力

■オートドキュメントフィーダー部基本仕様

用紙セット方向	原稿面上向き＊
最大原稿サイズ	A3
セット可能用紙種類	普通紙（坪量 64 ～ 95g/m^2）
最大セット可能枚数	30 枚または 3mm

＊： PX-1700F は、両面コピー・両面ファクス・両面スキャンで、A4 の自動両面給紙が可能。

■ファクス部基本仕様

型式	送受信兼用デスクトップ （スーパー G3・カラーファクス）
対応回線	一般加入電話回線（PSTN） 以下のシステムや電話回線では正しく動作しないことがあります。 • 構内交換機（PBX＊）を使用した内線電話システム • ADSL や光ファイバーなどの IP 電話回線 • 各種サービス（キャッチホンなど）の提供を受けている電話回線 • デジタル回線（ISDN） • 加入電話回線との間にターミナルアダプター・VoIP アダプター・スプリッター・ADSL ルーターなどの各種アダプターを接続しているとき その他、電話回線の状況や地域などの条件によっては正しく動作しないことがあります。 また、ドアホン・ビジネスホンには対応していません。
通信速度	最大 33.6kbps
解像度	モノクロ ドラフト：8pels/mm × 3.85lines/mm 標準：8pels/mm × 7.7lines/mm きれい：8pels/mm × 7.7lines/mm カラー 標準：200 × 200 dpi きれい：200 × 200 dpi
短縮ダイヤル登録件数	最大 60 件
受信ファクス最大保存ページ数	約 180 ページ （ITU-T 標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）
対応用紙サイズ	カラー：A4 まで モノクロ：A3 まで

＊： 企業などの内線電話システムで使われている回線で、外線発信するときに電話番号の最初に 0 などの外線発信番号を付けて通話する回線のこと。

■ カードスロット対応電圧

3.3V 専用・3.3V/5V 兼用（供給電圧は 3.3V）

- 5V タイプのメモリーカードは非対応
- 最大供給電流は 500mA

■ 対応画像ファイル

デジタルカメラ	DCF [*1] Version2.0 [*2] 規格準拠
対応画像ファイルフォーマット	DCF [*1] Version1.0 または 2.0 [*2] 規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG [*3] 形式の画像ファイル
有効画像サイズ	横：80 ～ 9200 ピクセル 縦：80 ～ 9200 ピクセル
最大ファイル数	9990 個 [*4]

＊ 1： 社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称。
＊ 2： 内蔵メモリーに保存されている画像には非対応。
＊ 3： Exif Version2.3 準拠。
＊ 4： 一度に表示できるファイル数は 999 個。999 個を超えるとグループ単位で表示。

※ 本製品で認識できない画像ファイルは画面上に「？」マークで表示されます。また、複数面レイアウト（自動配置）やインデックス印刷などでは、空白で印刷されます。

■ メモリーカードの最大容量

メモリーカード	サポートする最大容量
xD-Picture Card ™（TypeH・M・M ⁺）	2GB
メモリースティック （Duo・マジックゲートメモリースティック・マジックゲートメモリースティック Duo）	128MB
メモリースティック PRO （PRO Duo・PRO-HG Duo・メモリースティックマイクロ）	32GB
SD メモリーカード（miniSD・microSD）	2GB
SDHC メモリーカード(miniSDHC・microSDHC)	32GB
SDXC メモリーカード	64GB
マルチメディアカード（マイクロ・モバイル）	32GB
マルチメディアカードプラス	32GB
コンパクトフラッシュ	32GB
マイクロドライブ	6GB

上記は 2011 年 5 月現在の情報です。最新情報はエプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ)」でご確認ください。
< http://www.epson.jp/faq/ >

■ 外部記憶装置の最大容量

外部記憶装置	サポートする最大容量
CD-R ドライブ*・ DVD-R ドライブ*	CD-ROM/CD-R 700MB DVD-ROM/DVD-R 4.7GB ※ CD-RW・DVD+R・DVD ± RW・DVD-RAM には対応していません。
MO ドライブ*	MO 1.3GB
HDD *・ USB フラッシュメモリー	2TB ※ FAT･FAT32･exFAT フォーマット済みのもの。

＊： バスパワーでの電源供給は不可。必ず AC アダプターを接続して使用すること。

ただし、以下の外部記憶装置は使用できません。

- 専用のドライバーが必要なもの
- セキュリティー（パスワード・暗号化）機能付きのもの
- USB ハブ機能が内蔵されているもの

また、すべての動作を保証するものではありません。詳しくは、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp >

■ 電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

■ 有線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE802.3 i/u
通信モード	10BASE-T・100BASE-TX 自動または固定の選択が可能
コネクター形状	RJ-45
ポート規制	Auto-MDIX 対応

■ 無線 LAN 仕様

準拠規格	IEEE 802.11b・IEEE 802.11g・IEEE 802.11n
無線規格	ARIB STD-T66・RCR STD-33
周波数範囲	2.400 ～ 2.4835 GHz（1 ～ 13ch）・ 2.471 ～ 2.497 GHz（14ch）
チャネル	IEEE 802.11b：1 ～ 14ch IEEE 802.11g：1 ～ 13ch IEEE 802.11n：1 ～ 13ch [*1]
伝送方式	DS-SS（IEEE802.11b)･OFDM（IEEE802.11g･n)
通信速度	1 ～ 11Mbps モード（IEEE 802.11b） 6 ～ 54Mbps モード（IEEE 802.11g） 6.5 ～ 72.2Mbps モード（IEEE 802.11n HT20） 13.5 ～ 150Mbps モード（IEEE802.11n HT40）
通信モード	インフラストラクチャー・アドホック [*2]
セキュリティー	WEP（64/128bit）・WPA-PSK（TKIP）[*3]・ WPA-PSK（AES）[*3]

＊ 1： 40MHz 帯域幅（HT40）または 20MHz 帯域幅（HT20）で自動選択。
＊ 2： IEEE802.11n には非対応。
＊ 3： WPA2 規格に準拠し、WPA･WPA2 Parsonal 規格に対応。

通信速度は、規格上の通信速度表記であり、理論上の最大通信速度や実際の通信可能速度を示すものではありません。実際の通信速度は、環境により異なります。

ご注意

■ メモリーカードに関するご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます。以下同じ。）の不具合によってデータの記録、またはパソコン、その他の機器へのデータ転送が正常に行えない等、所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

動作確認とバックアップのお勧め

本製品をご使用になる前には、動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。また、メモリーカード内のデータは、必要に応じて他のメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。

- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 誤った使い方をしたとき
- 故障や修理のとき
- 天災により被害を受けたとき

なお、上記の場合に限らず、たとえ本製品の保証期間内であっても、弊社はデータの消失または破損については、いかなる責も負いません。

メモリーカードを譲渡・廃棄するときは

メモリーカード(USB フラッシュメモリーを含む)を譲渡・廃棄する際は、市販のデータ消去用ソフトウェアを使って、メモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。パソコン上でファイルを削除したり、フォーマット（初期化）したりするだけでは、市販のデータ復元用ソフトウェアで復元できる可能性があります。また、廃棄時には、メモリーカードを物理的に破壊することもお勧めします。

■ 液晶ディスプレイ

画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがありますが、故障ではありません。

■ 瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

■ 本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理･保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

■ 本製品の譲渡・廃棄

本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（電話番号、宛先名称など）を消去してください。
消去方法の詳細は、以下のページをご覧ください。
☞52 ページ「購入時の設定に戻す」
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

■ 複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。
（関連法律） 刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条
通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条 など
以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

■ 著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

商標・表記

■ 商標

- Mac OS は、米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- xD-Picture Card、xD-Picture Card ロゴは富士フイルム株式会社の商標です。
- SDXC Logo is a trademark of SD-3C,LLC.
- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- EPSON Scanはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON Scan is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- EPSON ステータスモニターはセイコーエプソン株式会社の商標です。
- EPSON PRINT Image Matching は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- CompactFlash(コンパクトフラッシュ)は、米国SanDisk社の米国およびその他の国における登録商標です。
- AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

■ 表記

- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版

本書中では、上記の OS(オペレーティングシステム)をそれぞれ「Windows XP」「Windows Vista」「Windows 7」「Windows Server 2003」「Windows Server 2008」「Windows Server 2008 R2」と表記しています。
また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートは、以下のページでご案内しています。
☞76 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

■ マニュアルのダウンロードサービス

製品マニュアル（取扱説明書）の最新版 PDF データをダウンロードできるサービスを提供しています。
< http://www.epson.jp/support/ > －［製品マニュアルダウンロード］

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（３年、４年、５年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディーな対応 － スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 － 万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単 － エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 － エプソンサービスパック規約内･期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のトラブル対処方法をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。
☞58 ページ「困ったときは」
☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」
☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「設定 / 印刷で困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。
改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求め頂いた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター（76 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」をご覧ください）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。
使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>修理代金</th></tr>
<tr><td rowspan="2">年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td>持込保守</td><td>• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
• 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。</td><td colspan="2">年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後そのつどお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">持込 / 送付修理</td><td>故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。</td><td>無償</td><td>基本料＋技術料＋部品代
修理完了品をお届けしたときにお支払いください</td></tr>
<tr><td colspan="2">ドア to ドアサービス</td><td>• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。
• 保証期間外の場合は、ドア to ドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金のみ）</td><td>有償
（ドア to ドアサービス料金＋修理代）</td></tr>
</table>

＊：消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

本製品に関するお問い合わせ先

●**エプソンのホームページ　http://www.epson.jp**
各種製品情報・ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先 ＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	電話番号
札幌修理センター	〒060-0034　札幌市中央区北4条東1-2-3　札幌フコク生命ビル10F　エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243　松本市神林1563　エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012　東京都日野市日野347　エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041　福岡市博多区吉塚8-5-75　初光流通センタービル3F　エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027　那覇市山下町5-21　沖縄通関社ビル2F　エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページでご確認下さい。http://www.epson.jp/support/
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・ 松本修理センター：0263-86-7660　・ 東京修理センター：042-584-8070　・ 福岡修理センター：092-622-8922

●引取修理サービス（ドアtoドアサービス）に関するお問い合わせ先
＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
引取修理サービス（ドアtoドアサービス）とはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、
修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

引取修理サービス（ドアtoドアサービス）受付電話　**050-3155-7150**【受付時間】月～金曜日9:00～17:30(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00(弊社指定休日含む)および、土日、祝日の9:00～18:00の電話受付は0263-86-9995(365日受付可)にて日通航空で代行いたします。
＊引取修理サービス（ドアtoドアサービス)について詳しくは、エプソンのホームページ でご確認下さい。http://www.epson.jp/support/
＊年末年始(12/30～1/3)の受付は土日、祝日と同様になります。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8066　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8582へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション 製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30　(祝日、弊社指定休日を除く)

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●ショールーム＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】　月曜日～金曜日　9：30～17：30（祝日、弊社指定休日を除く）

● **MyEPSON**
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

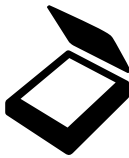
インターネットでアクセス！	**http://myepson.jp/**

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

● 消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求め下さい。（2010年7月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン 株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（インク）2010．07

操作パネルのメニュー一覧

コピーモード

コピーモード	標準コピー設定	コピーメニュー	設定項目
	コピー枚数 コピー濃度	用紙とコピーの設定	両面* 部単位でコピー レイアウト 倍率 用紙サイズ 用紙種類 印刷品質 原稿の向き 原稿とじ位置* 印刷とじ位置* 両面・乾燥時間* フチなしはみ出し量 現在の設定を登録
		写真コピー	
		プリンターのお手入れ	

＊：PX-1700F のみ。

ファクスモード

ファクスメニュー	設定項目
送信設定	画質 濃度 両面設定 原稿サイズ（原稿台） 現在の設定を登録
送信結果レポート印刷	
短縮ダイヤル登録 グループダイヤル設定	新規登録 編集 削除
受信設定	用紙サイズ*1 ファクス給紙装置設定*2 自動縮小印刷 ファクス出力設定
回線設定	エラー訂正（ECM） 通信開始速度 呼び出し回数 ダイヤルトーン検出 回線種別
ファクス機能診断	
自局設定	自局名登録 自局番号登録
時刻指定送信	
順次同報送信	
ポーリング受信	
レポート印刷	通信管理レポート 通信結果レポート 短縮ダイヤルリスト グループダイヤルリスト 受信文書再印刷 プロトコルログ
プリンターのお手入れ	

＊ 1：PX-1600F のみ。
＊ 2：PX-1700F のみ。

スキャンモード

スキャン機能	設定項目	スキャンメニュー
スキャンしてメモリーカードに保存 スキャンしてパソコンへ スキャンしてパソコンへ（PDF） スキャンしてパソコンへ(Eメール)	保存形式 カラー 原稿の両面設定* スキャン範囲 原稿タイプ 解像度 濃度 原稿の向き* 原稿とじ位置* 現在の設定を登録	スキャン設定 プリンターのお手入れ

＊：PX-1700F のみ。

写真の印刷モード

写真の印刷モード ― 写真の印刷機能 ― 写真の印刷メニュー ― 設定項目

写真の印刷機能
- 写真を見ながら選んで印刷
- すべての写真を印刷
- いろいろなレイアウトの印刷
- すべての写真をインデックス印刷
- スライドショーを見ながら印刷
- 写真コピー
- ノート罫線印刷
- データ読み込み先選択
- メモリーカードのデータをバックアップ*
- ファイル全削除

写真の印刷メニュー／設定項目
- 写真の選択方法
  - すべての写真を選択
  - 写真の日付で選択
  - 写真選択の解除
- 用紙と印刷の設定
  - 用紙サイズ
  - 用紙種類
  - フチなし設定
  - 印刷品質
  - フチなしはみ出し量
  - 日付表示
  - トリミング
  - 双方向印刷
  - 現在の設定を登録
- 写真の色補正
  - 自動画質補正
  - 補正モード
  - 赤目補正
  - フィルター
  - 明るさ調整
  - コントラスト
  - シャープネス
  - 鮮やかさ調整
  - 現在の設定を登録
- プリンターのお手入れ

＊：CD/DVD ドライブ接続時のみ、書き込み速度が設定できます。

セットアップモード

セットアップモード ― セットアップ機能 ― 設定項目

- インク残量の表示
- プリンターのお手入れ
  - プリントヘッドのノズルチェック
  - プリントヘッドのクリーニング
  - プリントヘッドのギャップ調整
  - インクカートリッジ交換
- プリンターの基本設定
  - 給紙装置の用紙サイズ設定*
  - 音の設定
  - スクリーンセーバー設定
  - 写真表示画面設定
  - 日付 / 時刻設定
  - 言語選択 /Language
  - 用紙サイズのチェック*
- ネットワーク設定
  - 無線 LAN 設定
  - ネットワーク基本設定
  - ネットワーク接続診断
  - ネットワーク情報確認
- ファイル共有設定
  - USB 接続優先
  - ネットワーク接続優先
- 外部機器印刷設定
  - 用紙と印刷の設定
  - 写真の色補正
- 本体ステータスシートの印刷
- 購入時の設定に戻す
  - ファクス通信設定
  - ファクス登録データのクリア
  - ネットワーク設定
  - ネットワークとファクス設定以外
  - すべての設定

＊：PX-1700F のみ。

索引

- 製品各部の名称は
  ☞10 ページ「各部の名称と働き」
- 操作パネルの使い方や画面の見方は
  ☞12 ページ「操作パネルの使い方」
- 用紙の種類・サイズは
  ☞14 ページ「使用できる用紙」
- 設定値（メニュー）は
  ☞78 ページ「操作パネルのメニュー一覧」

アルファベット

五十音

症状別トラブル Q&A

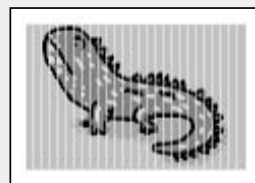
お問い合わせが多い内容です。該当する症状があるときは、対処方法が記載されているページをご覧ください。

プリンター本体のトラブル

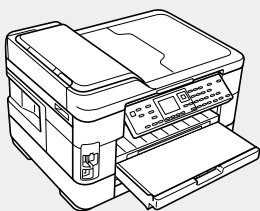
Q 印刷結果がムラになる・にじむ・ぼやける

A 使用している用紙と、印刷設定が合っていない可能性があります。

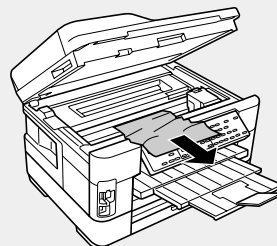
☞15 ページ「[用紙種類] の設定」

Q 印刷結果がシマシマになる・スジや線が入る・色味がおかしい

A プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。

☞57 ページ「ノズルチェックとヘッドクリーニング」

Q 給紙できない

A 用紙が正しくセットされていない可能性があります。

☞16 ページ「印刷用紙のセット」

Q 用紙が詰まった・排紙できない

A 詰まった用紙を取り除いてください。

☞58 ページ「詰まった用紙の取り除き」

パソコン接続のトラブル

Q パソコンから印刷できない

A お使いの接続方法に合わせて原因をご確認ください。

■ USB 接続

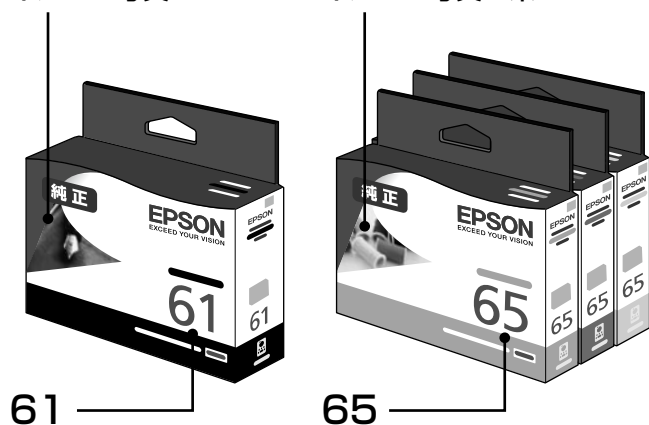
必要なソフトウェアが正しくインストール・設定されていない可能性があります。

☞『ユーザーズガイド』（電子マニュアル）－「トラブル解決」－「印刷のトラブル」－「印刷できない」

■ネットワーク接続（無線 LAN・有線 LAN）

ネットワーク接続の設定が正しくされていない可能性があります。

☞『ネットワークガイド』（電子マニュアル）－「設定 / 印刷で困ったときは」－「設定や印刷に関するトラブル」

上記を確認してもトラブルを解決できないときは、エプソンのホームページ「よくあるご質問（FAQ）」もご確認ください。
< http://www.epson.jp/faq/ >

インクカートリッジのご案内

画面の表示	色	型番
[BK]	ブラック	：ICBK61
[C]	シアン	：ICC65
[M]	マゼンタ	：ICM65
[Y]	イエロー	：ICY65

お得な４色パックもあります。
型番：IC4CL6165

【インクカートリッジは純正品をお勧めします】

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

インクカートリッジの回収

学校に持っていこう！

郵便局に持っていこう！

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。
より身近に活動に参加いただけるように、店頭回収ポストに加え、郵便局や学校での回収活動を推進しています。使用済みのエプソン純正インクカートリッジを、最寄りの「回収箱設置の郵便局」や「ベルマークのカートリッジ回収活動に参加している学校」にお持ちください。
回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。
< http://www.epson.jp/recycle/ >

本製品は、PRINT Image Matching III に対応しています。
PRINT Image Matching に関する著作権は、セイコーエプソン株式会社が所有しています。
PRINT Image Matching に関する情報は、エプソンのホームページをご覧ください。

412053400

2011 年 6 月発行
Printed in XXXXXX

EPSON